

TOYO UNIVERSITY

2019

令和元年度

東洋



東洋大学甫水会報 Vol.159

創立60周年記念

東洋大学甫水会 創立60周年記念 学長対談 1

ご挨拶

学校法人東洋大学総長 福川 伸次 4

学校法人東洋大学理事長 安齋 隆 4

学校法人東洋大学常務理事／ 5

甫水会常任理事 大熊 廣一

新学部長より

文学部長 大豆生田 稔 5

ライフデザイン学部長 水村 容子 6

生命科学部長 鳴海 一成 6

キャンパスガイド

白山キャンパス 7

朝霞キャンパス 8

川越キャンパス 9

板倉キャンパス 10

赤羽台キャンパス 11

学部紹介

文学部／経済学部／経営学部 12

法学部／社会学部／国際地域学部 13

国際学部／国際観光学部／ 14

ライフデザイン学部

理工学部／総合情報学部／生命科学部 15

食環境科学部／情報連携学部 16

大学事務局の窓口から

海外派遣者数の拡大と
本学独自の支援制度について 17

国際部国際課主任 幡手 洋祐

学生生活を支えるさまざまな取り組み 18

学生部長 中原 美恵

就職関係 20

就職・キャリア支援部部長 石井 健一

納付金（学費等）について 21

経理部財務課

甫水会活動

2018年度甫水会事業報告 22

2018年度事業報告／2018年度会計報告

2019年度甫水会活動計画 28

2019年度事業計画／2019年度予算書

2019年度父母懇談会・支部総会報告 32

沿革・寄贈 33

本部行事・支部行事

本部行事 34

支部行事 37

甫水会役員名簿

本部役員・評議員・顧問 38

本部役員紹介 39

生協グッズ／甫水会ウインドブレーカー 40

父母専用相談窓口（父母ホットライン） 41

表紙写真

白山キャンパス 井上円了像

（2019年は、東洋大学創立者・井上円了の没後100周年にあたります。）





東洋大学甫水会 創立60周年記念

学長対談

荻野会長 本日は甫水会創立60周年に際し、発行誌『東洋』の特別企画ということで、竹村学長には貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。

東洋大学甫水会は1959年1月に創立して以来、60周年を迎えることが出来ました。途中紆余曲折もあったと思いますけれども、大学の深いご理解と多大なるご協力により、この日を迎えることができたと思っています。

竹村学長 こちらこそお世話になっていまして、本当にありがとうございます。

写真 左：荻野雅彦東洋大学甫水会会長 右：竹村牧男東洋大学学長

会長 今現在、会員数は約26,500名、そして本部支部を合わせて500名位の方に役員になって甫水会の屋台骨を支えていただいております。

学生の父母保証人ですから学生が卒業すると役員も卒業して、毎年毎年役員が入れ替わります。役員の方々のご苦労とか英知の結集というか、そういったものが幾重にも折り重なり代々継承されて、今60周年の会長としてこの瞬間にいることがとても光栄に感じます。

学長 巡り合わせですね。ラッキーな方です。

会長 これを継承し61年目の門出とし、甫水会としても新たな時代を感じられる運営を心掛けたいと思っています。

学長 60年前というと学部がいくつくらいでしょうね。白山と川越があるかないかでしょうか。お蔭様で今や5キャンパスに13学部と、大変大きな大学になることが出来ました。これもひとえにご父母の皆様方のご支援のお蔭だと思いま



「知性と徳性を十全に兼ね備えた 人間を育成すること」

東洋大学学長
竹村 牧男 [たけむら まきお]

す。心より御礼申し上げます。

また、歴代の役員の方々のご尽力によりまして、ますます甫水会の活動が盛んになって、そして学生の支援も多方面にしてくださっている。本当に有り難く思っています。

甫水会OBやOGの方々も箱根駅伝など、いつも応援して下さいまして、ぜひお子様が卒業されても、末永く東洋大学に関わっていただけると有り難いと思います。

会長 支部によっては気軽なOB会みたいなのがあっても良いんじゃないかと話題にあがるそうです。箱根駅伝の応援の場が、ひとつの同期会の場みたいになっているんですね、きっと。

6月から8月にかけて全国で父母懇談会が行われています。学長はじめ教職員の皆様に毎年出張していただいて、父母にとっては、子供が通う東洋大学を知る本当に良い機会になっています。学長には今年は長野県支部へ行っていただきました。

学長 例年以上に集まつていただきましたね。最近の父母懇談会は大学主導するようになって来ていまして、大学も力を入れています。全国の会場に行くのは学長、副学長、学部長クラスです。大学を代表出来る人が大学の現在の状況や今後目指している方向などを、いち早くお伝えしています。私たちとしましても、今こうやって学生を育てようとしていますということを直にお伝えできる大変貴重な機会だと思っております。

また、やはりお子様の学生生活が不安だとか、そういう方には来ていただければ、親身になって相談に乗ることを心掛けております。

会長 本部役員3年目になるのですが、毎年のように会員皆さんに言われるのは、東洋大学は規模の大きい大学ではあるけれども、学生に対してす

ごく面倒見が良いと。

学長 甫水会の皆様がそういう伝統を作ってくださったと思います。またいろいろされて来られたその積み重ねの上に、大学がさらにそういう場を盛り上げようということで行っていることで、これはもう皆さんのお蔭だと思います。

会長 そう言ってくださると有り難いです。

学長 うちは就職も面倒見が良いはずなのですよ。就職で困っているような学生には、こちらから電話をして相談に乗ったりしています。一般に公開されている就職ランキングには見えてこないのですが、学生の就職活動に対しては非常にきめ細かに面倒を見ているつもりです。

会長 本当にそう思います。大学の姿勢っていうのが、すごく良く分かります。

東洋大学といえば、陸上、野球、水泳、相撲、ボクシング等々、日本を代表するスポーツ選手をたくさん輩出していますが、学業の方もすごく頑張っていますよね。スポーツ以外の分野でいま頑張っているんだというのを教えてください。

学長 やはり2014年にスーパーグローバル大学創成支援という文科省の「日本社会の国際化」を牽引する大学の一つとして採択されたのが非常に大きくて、以来、本学のキャンパスの国際化、グローバル人財の育成に焦点を当てて全力を尽くしてきました。入学志願者も増えていますし偏差値もかなり上がって来ています。

高校の教育界とか受験業界の評価によると、もうMARCHと変わらない、そういうクラスまで上がって来たということです。今後の課題は研究力ですね。

会長 研究力ですか。

学長 研究力をさらに高めていくことによって世界ランクインも上がります。そうすると学生の留学先でもより良い大学と協定を結べるわけです。

「新たな時代に向けて甫水会も、 学生活動の応援をして行きます」

東洋大学甫水会会长
荻野 雅彦 [おぎの まさひこ]



本学には立派な先生もたくさんおられます。それぞれ研究力はあるのですが、測られるのは国際的な学術誌にどれだけ論文を書いているかとか、そういう話になってきます。そういうことをふまえ、本学の国際的な地位、評価を高めることに今、全力を尽くしています。

会長 卒業式とか入学式の学長の式辞を拝聴していく、「人間力」という言葉が出てきます。勉強して良い点数を取るだけではない、学生に求められる人間力についてお聞かせください。

学長 国際的標準で見て、学士の学位を受けるに値する能力とは何かというとき、アカデミックな能力もあるでしょうし、同時に人間的な能力もやはりあるわけです。

社会人としての基礎能力、リーダーシップ、協調性や、あるいは課題発見能力、問題解決能力などが必要で、いろいろな知識もあり、かつ応用も出来る、それで初めて学士に値します。教育内容もそれらを育成するように変えていかなければならぬ。教育の質の転換も必要です。

井上円了先生の建学の理念は、まず筆頭に「諸学の基礎は哲学にあり」。その次は「知徳兼全」、知性と徳性を十全に兼ね備えた人間を育成すること。これは井上円了先生が欧米に視察にいって、欧米の教育はそういうことを重視している。教育はそうでなければいけない。じっくりと人間を作つて、その上で学問をしてもらう、そういう意味で知徳兼全ですね。

円了先生の教育理念は現代を先取りしています。グローバル化もその頃から見据えていたのだと思います。

会長 新たな時代に向けて甫水会も、学生活動の応援を一層充実させていきたいと思います。スポーツ、文化芸術、学業に頑

張る学生を応援するとともに、奨学金など学生支援にも力を入れているところですが、その他甫水会や父母保証人に期待するございましたらおっしゃってください。

最後に学生父母に対するメッセージをお願いいたします。

学長 創立者がいかに偉大な方かということをぜひ知ってほしいです。福沢諭吉、大隈重信とも並ぶ方であつて、その後、早稲田、慶應に後れを取つたのは申し訳ないなと思います。円了先生は日本の人文学の草分けであり高度な業績を残されました。また、妖怪学は超学際的な学問体系です。ぜひ円了先生のことを知つていただきたい。学生には、自ら律していくことによって自ら立つという自律から自立へと親離れして、そして主体性を發揮する。人に何かをしてもらおうというのではなくて、自分が何かをしてあげる存在になる、そういう人間に育つてほしい。そのことを4年間のうちで培つて欲しいし、それを父母は見守つて欲しいと思います。

会長 本日は甫水会創立60周年記念号の特別企画、学長対談ということで貴重なお話をありがとうございました。





学校法人東洋大学 総長

福川 伸次



学校法人東洋大学 理事長

安齋 隆

新しい知的拠点を目指す東洋大学

東洋大学甫水会会員の皆様には、日頃から東洋大学の発展に温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

東京オリンピック、パラリンピックがいよいよ明年に迫ってきました。東洋大学のスポーツ選手が素晴らしい活躍をみせることを期待しています。

さて、最近の世界情勢をみますと、国際主義が後退し、協調の精神を失い、新しいものに挑戦する意欲が後退しているように思います。

グローバリズムは、19世紀から20世紀前半にかけて、人類が苦悩してきた保護主義、民族主義、拡張主義、軍国主義を超えて漸く手にした英知の所産であります。

ところが最近の主要国の政治は、ポピュリズムに流れ、国内利益優先の傾向に走り、力が中心的価値の時代に移っているように見えています。こうした状況が続けば、おそらく経済は停滞し、国際協調は揺らぎ、国際社会は不安定な状況に陥らざるを得ないでしょう。何としてもグローバリズムを再生しなければなりません。

一方、高度情報技術は目まぐるしい発展を遂げ、新しい経済、新しい社会、新しい秩序を形成しつつあります。しかしながら米国と中国の覇権争いに見られるように、サイバー技術をめぐる争いが続けば、地球社会の持続可能な開発につながらないでしょう。

2017年に東洋大学が将来ビジョンを発表した「Beyond2020」は本学の建学の精神の上にグローバリズムとイノベーションに真摯に取り組むべきビジョンを示したもので、今こそその具体化に取り組むべき時期にあります。

私は東洋大学こそ新しい時代を拓く知的拠点になり、グローバリズムとイノベーションに挑む意欲ある人材を送り出す機関になることと確信しています。

東洋大学をめぐる環境は、18歳人口の減少、激化する大学間競争などで今後さらに厳しいものになると考えております。我々は、役員、教員、職員を通じて危機意識を共有しつつ、新しい時代の要請を取り入れ、本学の未来を拓こうと考えております。

甫水会会員の皆様が、本学の発展にご支援とご協力を賜りますようお願いして、私のご挨拶とさせていただきます。

先人が残してくれた「真」の言葉

私の故郷の秋祭りは3日間続く。私は3日間のうちの宵祭りが好きで今なお友人たちと集う。市内7町から繰り出す山車はろうそくを灯した提灯300個で埋め尽くされる。その中では小学生が太鼓を打ち鳴らしながら市内各所を回る。壮大な祭りである。

友人の中には、この若気を呼び戻してくれるような興奮の中の宵祭りよりは、体がほんわかと疲れたなかで行われる3日目の後祭りの方がのんびりしていて好きだという者もいる。

日本語は面白い。この「後祭り」に一文字「の」を入れて「後の祭り」というともはや取り返しがつかなくなつたという意味になる。

先輩や上司からよく「詰めが甘い」という指導を受けた。その詰めの甘さが組織の内部でとどまっているのであれば、それは容易に修復できるが、これが外部との関係で起きたり、契約書類で出してしまったとすると、もはやただ事では済まない。詰めが甘いとまさに将棋の世界では最後の局面で勝負がついてしまうのである。

スポーツの世界でも同じような場面は度々起こる。

9月に行われた東京オリンピックのマラソン出場選手選考会では、本学出身の服部勇馬さんが2位でゴールし、2位までに与えられるオリンピック出場権を獲得した。なんと首位とは8秒差、3位との差は5秒という僅差であった。

彼は35km過ぎた頃からどうしても失速する傾向があるので、50km、60kmとより距離を延ばして練習を重ねてきたと言う。本学の陸上競技部酒井監督の「その一秒を削り出せ」という指導はこうして実を結んでいるのだ。私はこの「その一秒を削り出せ」という発想が「九切の功を一簞に欠く」という古くからの名言に通じていると感じている。

ボクシング部でも関東大学ボクシングリーグ戦で58年前の創部以来初めて優勝した。2位とはわずか1点の勝ち点差である。7年前のオリンピックで村田諒太選手が金メダルを獲得して以来築いてきた選手層の厚さが生み出したものである。先輩後輩たちの努力が積み上げた一簞なのだ。



学校法人東洋大学常務理事
甫水会常任理事

大熊 廣一

東洋大学とスポーツ

甫水会創立60周年、会員の皆様には心よりお慶び申し上げるとともに、日頃から東洋大学の発展にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。また、東洋大学地区別父母懇談会では各支部の役員を始めとする会員皆様方のご支援、ご協力をいただきましたこと改めて御礼申し上げます。

来年（2020年）は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本学学生及び卒業生から多くの選手が出場するものと思います。すでに9月15日のマラソングランドチャンピオンシップ（東京オリンピックマラソン日本代表選考レース）では、本学卒業生の服部勇馬選手（2016年3月卒）が2位となりオリンピック代表に選出されています。

今後、出場が期待される選手として、陸上競技では、20km競歩の池田向希選手（経済学部3年）、50km競歩の川野将虎選手（総合情報学部3年）、1万mの相澤晃選手（経済学部4年）、西山和弥選手（総合情報学部3年）、走り幅跳びの津波響樹選手（ライフデザイン学部4年）、水泳では、4×200mフリーリレーで白井璃緒選手（国際観光学部2年）、200m個人メドレーで今井月選手（法学部1年）、ボクシングではバンタム級の堤駿斗選手（経営学部2年）などがあります。卒業生では、陸上競技の桐生祥秀選手（2018年3月卒）、ウォルシュ・ジュリアン選手（2019年3月卒）、水泳では大橋悠依選手（2018年3月卒）、青木玲緒樹選手（2017年3月卒）、ゴールボールでは山口凌河選手（2019年3月卒）などが有力候補となっています。

また、理工学部生体医工学科の望月修教授、寺田信幸教授、窪田佳寛准教授が中心となり、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて開発を進めている国産カヌー「水走（MITSUHA）」開発プロジェクトでは、実戦艇が完成し、8月19日にオリンピック会場となる東京都江戸川区のカヌー・スラロームセンターで公開テストが行われました。今後さらに改良を重ねトップ選手に艇の採用を働きかけていきます。

本学の運動部の活躍は、陸上競技部、野球部、水泳部、相撲部などを始めとして目覚ましいものがあります。甫水会員の皆様には正課の活動に加え、課外活動に位置付けられる活動につきましても、さらなるご協力をいただけますよう何卒宜しくお願ひ申し上げます。



新学部長

文学部長

大豆生田 稔

学生の主体性を育む取組みについて

文学部は、学生の主体性を育む多様な取組みを進めています。それは、まずカリキュラム、特に2016年度からはじまった現行のカリキュラムによって実現がはかられています。文学部ではすでに、すべての学科が卒論を必修としていました。学生自らテーマ設定をするところからはじまり、関連する先行研究の把握、関係資料の調査・収集、論文の構想・構成、適切な文章表現など、主体的に読む・書く・考える力を伸ばすことにつとめてきました。また、授業科目としても、比較的少人数で、履修者が主体的に授業に参加して課題を設定し、自ら解決をはかる「演習」を重視してまいりました。

このようなカリキュラムの根底には、建学の精神である哲学教育がありましたが、さらに国際化、キャリア教育の柱が加わって再編成され、2016年度のカリキュラム改訂に至りました。その翌年度には、新たに国際文化コミュニケーションが設置され、現在の7学科がそろうことになります。現在、カリキュラムのさらなる見直しが進められており、2021年度を期して、その改正作業が進められています。

また、海外文化研修や講演会など、カリキュラム以外にも多様な取組みを展開しています。その一部は単位化され正課にも取込まれています。これらの諸企画も、学生の主体的な参加を促しています。例えば、昨年度の就職・キャリア関係では、学生諸君の積極的な取組みを引き出す実践的な企画を実施しました。広告・出版・旅行などの業界関係者や国連の職員をお招きして業界の実情やキャリアを特性を知る「仕事を知るための文学部講座（業界研究）」、また文学部の卒業生にも協力をお願いして、より身近な先輩による「文学部OB・OGによる就職講座」など、就職・キャリア関係の講座（講演会）は合わせて8回を数えました。



新学部長

ライフデザイン学部 学部長

水村 容子

社会との繋がりを実感させる —ライフデザイン学部における 学生の主体性を育む取組み—

甫水会の皆さんには、平素よりライフデザイン学部の教育に対してご理解とご協力いただいておりますこと、心より厚く感謝申し上げます。本日は我々の学部での取り組みを紹介させていただきます。

ライフデザイン学部ではより効果的な教育を展開するため、各学科の専門性に基づいた、地域・社会との連携プログラムを展開しており、その内容は学生の主体性の獲得にもつながっています。こうしたプログラムは大きく、「地域との繋がり」と「世界との繋がり」に大別できるでしょうか？以下その一部の例を紹介します。

■地域と繋がるプログラム

朝霞市との協働により、現在「子ども大学あさか」を開校しています。地域の小学生に大学での専門教育の体験を通じて、様々な知的好奇心を醸成することを目的としたものです。そして、多くの学生が運営に関わっています。プログラムの企画・立案や子ども達への対応を通じて、行政や地域住民と接する機会を得て、そして主体的に自分の役割を担い実行する能力を身に着けていきます。このプログラム以外にも、各学科が展開する「子育てサプリ」「Keep Active」「朝霞の森におけるパビリオンの作成」など社会貢献活動を通じて、多くの学生が地域社会と繋がり、主体的に役割を担っていく能力を習得しています。

■世界と繋がるプログラム

また、ライフデザイン学部では、語学研修のみならず、各学科の専門性に基づく海外研修も展開しています。福祉施設での研修を体験する韓国研修や、体育大学で運動指導方法を学ぶドイツ研修などを実施してきました。さらには海外より一線のデザイナーを招聘し学内でのデザインワークショップも展開してきました。

こうしたプログラム実施時の学生達の表情は、実は通常の授業時よりも活き活きと輝いています。ライフデザイン学部では今後も様々なプログラムを展開し、学生の自主性や社会性の向上に努めていきたいと考えています。



新学部長

生命科学部長

鳴海 一成

生命科学部の取組み —学生の主体性を育成するために—

新しい発見や技術革新が日進月歩で起こる生命科学分野では、絶えず新しい知識と技術を吸収して活用できるような主体性のある人材が求められています。現在、生命科学部では、通常の基礎科目や専門科目に加えて、向上心・主体性の育成や自発的なキャリアプランの形成に繋がる以下のような多彩なカリキュラムと課外のプログラムを実施しています。

1年生から3年生にかけて履修する複数の実験科目では、実験を通して主体的に課題に取り組み、実験の結果をもとに考察したことを、自らの言葉でレポートにまとめる能力を育成します。また、4年生には卒業研究に取り組み、卒業論文としてまとめると共に、卒業論文を聴衆の前で発表することによってプレゼンテーション力を育成します。さらに、国内・国外学会での研究成果発表を支援することで、より一歩進んだ行動力・発信力を育成します。

好奇心や学習意欲の向上を促すための「生命科学部体験学習プログラム」では、希望者を対象に農業体験、施設見学会、資格取得支援集中講座などを開催しています。また、「高度な機器技術教育プログラム」では、キャリアプラン形成を目指して、電子顕微鏡や質量分析装置の取扱いについての講習を行っています。さらに、「持続的な英語力向上プログラム」では、1ヶ月間のカナダ語学留学と学内で開催する英会話講座の連携によって、学生の主体性を飛躍的に向上させる取組みを行っています。

上記の様な様々な取組みを通して、理系としての基礎力および専門性を育成しつつ、自発的に物事に取り組む「主体的な姿勢の育成」に学部を上げて努めています。学生が自信と実力をつけて社会で活躍できる様に、今後5年先、10年先に生命科学が社会で果たすべき役割を見据え、次期カリキュラムを策定し、新規教育プログラムを企画していきたいと思いますので、今後ともご理解・ご協力頂ければ幸いです。

白山キャンパス

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

文・経済・経営・法・社会・
国際地域・国際・国際観光学部
イブニングコース（第2部）
大学院

1887（明治20）年に本郷区龍岡町（現・文京区湯島）の麟祥院で創立し、1897（明治30）年より小石川区原町（現・文京区白山）に校舎を構え、この地とともに歴史を歩んできました。創立100周年を機に、高層集約化による近代的なキャンパスとなり、文系学部・イブニングコース（第2部）・大学院の学生、約22,000名が通学しています。

創立者・井上円了博士の立像が見守る「甫水の森」は、地形を活かした緑と水のオープンスペースが評価を受け、2003（平成15）年度に文京区の第3回文の京都市景観賞「景観創造賞」を受賞しました。

5号館は、井上円了ホールと井上円了記念博物館があり、創立者を記念した建物となっております。

6号館は、西門のポケットパークやシンボルツリー（大楠）、屋上緑化が評価され、2005（平成17）年度第5回文の京都市景観賞「景観創造賞」や、2006（平成18年）年度 東京都環境賞「知事賞」を受賞しました。

創立125周年を迎えた2012（平成24）年に「研究開発」「国際化」「交流・発信」の機能を備えた125周年記念館（8号館）、9号館が完成。2017（平成29）年に10号館が完成しました。タワー型の2号館からは副都心を一望できます。キャンパス内には複数の学食スペースがあり、メニューも豊富に取り揃えています。



敷地：3万6,412m²／校舎：11万2,712m²

MAP



ACCESS

- JR巣鴨駅から浅草寺駅行バスで10分 東洋大学前下車
- 都営地下鉄三田線で白山駅下車 徒歩5分
- 都営地下鉄三田線で千石駅下車 徒歩7分
- 東京メトロ南北線で本駒込駅下車 徒歩5分

テレホンガイド		
ご案内事項		
●キャンパス代表	取扱い窓口	電話番号
●教務関係	総務課	03-3945-7224
授業・成績等	文 学 部	03-3945-8544
	経 済 学 部	03-3945-8423
	経 営 学 部	03-3945-7247
	法 学 部	03-3945-8547
	社 会 学 部	03-3945-8538
	国 際 学 部	03-3945-4233
	国際地域学部国際地域学科	
	国 際 観 光 学 部	03-3945-7733
	国際地域学部国際観光学科	
	大 学 院	03-3945-7250
証明書音声ガイド	各 学 部 共 通	03-3945-7225
●学生生活関係		
奨学金		
アルバイト・下宿・アパート	学生支援課	03-3945-7124
サークル活動		09-3945-7262
運動部関係		03-3945-7809
保健管理室		03-3945-7278
学生サポート室		03-3945-7265
学生サポート室（障がい学生支援）		03-3945-8673
●就職関係		
キャリア・就職相談	就職・キャリア支援部	03-3945-7280
●国際交流関係		
留学関係	国際教育センター／国際部	03-3945-8593
学費関係	財 务 課	03-3945-7305
寄付・募金関係	募 金 課	03-3945-7498
入試	入 試 課	03-3945-7272
図書館関係	白 山 図 書 館	03-3945-7325

朝霞キャンパス

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1

ライフデザイン学部



敷地：6万9,774m²／校舎：3万2,797m²

MAP



ACCESS

- 池袋駅から東武東上線で急行18分 朝霞台駅下車 徒歩10分
- JR武蔵野線北朝霞駅下車 徒歩10分

朝霞キャンパスは、池袋からわずか18分の東京都心に近い埼玉県南部の武蔵野の自然が多く残る朝霞市の東武東上線朝霞台駅とJR武蔵野線北朝霞駅より徒歩10分のところにあります。キャンパスのすぐ近くを流れる黒目川は朝霞市の桜の名所であり、花まつりや人々の憩いの場所となっております。

朝霞キャンパスで学ぶライフデザイン学部は、諸資格取得のための実習授業が多いことも特徴の一つです。そのため、キャンパス内には、多様な授業目的のための実習設備が完備され、より実践的な知識や技術を学ぶことができます。例えば、介助技術の授業のための介護実習室、入浴実習室、調理実習室などや、保育士、幼稚園教諭の授業のための保育実習室、音楽実習室、ピアノ練習室などがあります。テニスコート、サッカー・アメフト競技用の人工芝グラウンド、ソフトボール場、体育館にはアリーナのほか、トレーニング機器を設置しているトレーニング場があり、これらの体育施設は授業のためだけでなく、学生の課外活動などでも広く利用されています。また、デザインや制作などの授業や演習で使用する実験工房には各種演習用の工作機械室や学生がいつでも作業できるアトリエスペースが設置されており、学生がものづくりに専念できる環境を備えています。

その他、大型絵本のある図書館や学生の課外活動のためのコミュニティセンターなどがあります。キャンパスの中央には木々に囲まれた憩いの広場があり、休み時間や空き時間には友人とおしゃべりをしたり、軽く体を動かしたりする学生が多く見られます。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	朝霧事務課	048-468-6311
●教務関係		
履修・成績・試験 学籍・証明書	朝霧事務課	048-468-6451
●学生生活関係		
サークル活動		048-468-6408
奨学金		048-468-6457
学生相談室	朝霧事務課	048-468-6462
医務室（健康管理）		048-468-6607
●キャリア形成支援関係		
キャリア形成支援（就職）	朝霧事務課	048-468-6461
●学費等関係		
学費	朝霧事務課	048-468-6321
●入試関係（ライフデザイン学部）		
入試	朝霧事務課	048-468-6461
●図書関係		
図書館	図書事務課	048-468-6331

事務局へご質問・ご相談等ありましたら、ご遠慮なく各キャンパスのテレホンガイドによりお尋ねください。担当部課室の電話は、すべて直通になっております。

〈お電話受付時間〉

平日 9:30~12:45、14:00~16:45

土曜 9:30~12:45

なお、電話の場合は、必ずご自分の姓名と「学生の学科・学籍番号・名前」を申し出てください。申し出のない場合は、お断りする場合もございます。また、内容によってはお電話ではお答えしかねる場合がございますことを合わせてご了承ください。

※2021年4月にライフデザイン学部は、埼玉県「朝霞キャンパス」から東京都北区「赤羽台キャンパス」へ全面移転いたします。

川越キャンパス

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

理工学部・総合情報学部
大学院理工学研究科
大学院総合情報学研究科
大学院学際・融合科学研究科

川越キャンパスは、1961（昭和36）年に工学部の学生が学ぶキャンパスとして開設されました。現在では理工学部、総合情報学部、大学院に在籍するおよそ5000名の学生が学ぶ場となっております。東京ドーム約6個分という広大な敷地を活かし、「物創り工房」や「バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター」など多くの研究施設を設置しています。数学・物理・英語などの基礎科目に対応した「学習支援室」や留学、海外インターンシップ、語学学習などについて支援する「グローバルコミュニケーションスペース（GCS）」などの学習施設も設置しています。また、部活動、サークル活動も盛んで、川越だけで50以上のサークルが活動しています。

その一方で、陸上競技場やラグビー場、野球場など各種グラウンドを備え、2018年3月には国内では珍しい屋内走路を併設した体育館を新築いたしました。また「大越記念庭園」や新西門から始まる「こもれびの森」等の豊かな自然を持つキャンパスでもあります。

その他、川越市と協力して行っている地域連携プログラムや一般の方に参加いただける「オープンカレッジ」、「こもれびの森・里山支援隊」など学外と協働した事業も行っております。



敷地：28万6,981m² / 校舎：7万7,401m²

MAP



ACCESS

■池袋駅から東武東上線で急行38分

鶴ヶ島駅下車 徒歩10分

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●教務関係		
履修・成績・試験・学籍 教職・各種証明書	教 学 課	049-239-1312
●学生生活関係		
奨学金・クラブ・サークル活動	教 学 課	049-239-1314
アルバイト	※	03-5466-1236
下宿・アパート	※	049-228-8832
学生相談室	教 学 課	049-239-1544
医務室（健康管理）	教 学 課	049-239-1317
※川越キャンパスでは業務委託をしております。		
●就職関係		
求人受付	教 学 課	049-239-1641
就職相談		
●学費・入試関係		
学費	総 務 課	049-239-1303
入試関係	教 学 課	049-239-1392
●図書関係		
図書館川越	図 書 館	049-239-1321
●キャンパス代表		
その他上記以外のお問い合わせ	総 務 課	049-239-1300

板倉キャンパス

〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1

生命科学部・食環境科学部
大学院（生命科学研究科・食環境科学研究科）



敷地：33万1,963m²／校舎：3万4,279m²

MAP



ACCESS

■池袋駅からJR宇都宮線（湘南新宿ライン） 東武日光線で79分
北千住駅から東武スカイツリーライン 東武日光線で63分
板倉東洋大前駅下車 徒歩10分

1997年に群馬県板倉町に開設された板倉キャンパスには現在、生命科学部、食環境科学部、大学院生命科学研究科、食環境科学研究科の2学部2研究科が設置されており、約2000名の学生が勉学に励んでいます。

キャンパスには、多くの実験設備や学習環境が備えられています。2010年に完成した5号館は、「シーズ（生命の種）」をモチーフとしたガラス張りのモダンな設計となっています。36の実験室、10の共通機器室に最新の実験機器を有しており、多くの学生、教員が研究活動に励んでいます。また、3号館には給食経営管理室等が設置され、管理栄養士を目指す学生が約100人分の大量調理実習を行う事が可能です。

また板倉キャンパスには陸上競技部女子長距離部門、体育会サッカー部女子部の学生が在籍しており、専用グラウンドで日々練習に励んでいます。

更に図書館や体育施設、学生食堂などは、地域の方にも利用していただいているほか、お菓子を食べながらリラックスした環境で科学を身近に感じてもらうことを目的に2011年から月1回開催している「サイエンスカフェ」など地域の方にご参加いただけるイベントも多く企画しており、地域と密接な関係を築いています。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	板倉事務課	0276-82-9111
●教務関係		
生命科学部	板倉事務課	0276-82-9170
食環境科学部		0276-82-9171
大学院		0276-82-9119
●学生生活関係		
奨学生	板倉事務課	0276-82-9172
サークル活動		
アルバイト	板倉事務課	0276-82-9172
学生相談室	学生相談室	0276-82-9132
医務室（健康管理）	医務室	0276-82-9123
●就職関係		
就職相談	板倉事務課 (キャリア形成・就職支援室)	0276-82-9172
●国際交流関係		
海外留学	板倉事務課	0276-82-9171
●学費等関係		
学費	板倉事務課	0276-82-9111
●図書関係		
図書館	図書事務課 (板倉)	0276-82-9061

赤羽台キャンパス

〒115-0053 東京都北区赤羽台1-7-11

情報連携学部
大学院（情報連携学研究科）

赤羽台キャンパスの最寄り駅、JR赤羽駅は、都心のみならず、横浜、大宮ほかの主要地点からのアクセスにも優れています。駅からは近いながら、駅周辺の喧騒から離れ、住宅街の落ち着いた環境の中にあります。

情報連携学部 (Information Networking for Innovation and Design: 通称INIAD) では、コンピュータ・サイエンス教育を基盤とし、チームを組んでコンピュータを使いこなし、情報を通して連携し、素早くアイデアを形にできるような人材を養成しています。

INIADの多くの授業は、少人数教室でのディスカッションやチーム学習を中心に行っており、また、従来の教室とは異なり、黒板もホワイトボードもありません。学生は各自自分のパソコンを大学に持参して、インターネットを通じて、事前に配布される教材や授業で出た課題に取り組んでいます。

また、本のない図書館であるメディアセンターで、学生は電子ブックや電子ジャーナルで調べものを作ったり、グループで集まって学習したりしています。学生には必要な情報を、紙の掲示板ではなく、すべて校舎内のデジタルサイネージやメール等でお知らせしています。

INIAD専用の校舎INIAD HUB-1は、最先端のIoTビルディングで、建物自体がIoT教材もあります。教室や部室の鍵や照明、空調、ロッカー、エレベーター、各種のセンサーなどの様々な設備がインターネットに接続され、学生を個々に識別するだけでなく、学生は定められているルールの範囲内で、自分たちの環境をプログラミングによってより使いやすくしていくことができます。

なお、2021年度には、ライフデザイン学部が朝霞キャンパスから移転することになり、校舎建設工事が開始されました。当キャンパスの一層の発展が期待されます。

テレホンガイド

ご案内事項	取扱い窓口	電話番号
●キャンパス代表	赤羽台事務課	03-5924-2600

〈お電話受付時間〉
月～金 9:30～13:00、14:00～18:45



敷地 約40,000m² 校舎 約18,000m²

MAP



ACCESS

■JR赤羽駅下車 徒歩8分
東京メトロ南北線赤羽岩淵駅下車 徒歩12分

学部紹介

文学部

Faculty of Letters

本学は1887（明治20）年に創立された「哲学館」を前身とし、1906年から「東洋大学」を名乗ります。1928（昭和3）年には大学令による大学として認可されますが、文学部はこのとき置かれた唯一の学部であり、戦後、総合大学として展開をとげる本学の源流となる学部です。現在、文学部には、哲学科、東洋思想文化学科、日本文学文化学科、英米文学科、史学科、教育学科、国際文化コミュニケーション学科の7学科があります。哲学・歴史・文学という伝統的・基礎的な領域に加え、教育学や語学、文化、またグローバル化に対応した諸領域の比較・交流・総合など広範な領域におよぶ学科群です。多数の学科により構成されていますが、通底する目標は「ことば」を通じた真理の探求と人材の育成です。すなわち、読む・書く・考える力の養成を通じて、多様な「ものの見方・考え方・表現の仕方」を身につけた、社会に有為な人材を育てることです。

経済学部

Faculty of Economics

経済学部の中国海外経済研修

8月11～14日まで北京の对外経済貿易大学を訪問し、経済学部の中国海外経済研修を視察する機会を得た。開始当初は人数が集まらずなかなか催行できなかったが、徐々に人数が増えて今年は5回目の節目となった。

この間、中国側にも人数の増加を辛抱強くお待ちいただくと共に、研修の実施に細やかな配慮をいただいたので、5回目の節目にこれまでの御礼に伺った。併せて学生の研修の様子も見分したかったということである。

研修に参加した学生は、グループに分かれて現地の学生と共に積極的に発言しながら現地見学の計画を練っていた。また、中国が最先端を駆ける5Gなど最新の状況を詳しく知りたいということで活発な議論を行っていた。

戻ってくると、学生はもう一度行きたいという熱烈な中国ファンとなる。経済学部では中国だけでなく欧州、米国に関しても語学研修ではない専門の海外研修を実施しているので、保護者のご理解とご協力を是非お願いしたい。

経営学部

Faculty of Business Administration

経営学部の海外研修と資格取得支援

本学はSGUの採択を契機として、様々な海外研修を展開しています。経営学部では2017年度から泰日工業大学との協定に基づいた10日間のタイ研修、2018年度からオックスフォード大学での3週間にわたる海外研修を開始しました。タイでは現地企業の視察などを通じて経営学を学び、オックスフォードでは、語学に加え、イギリス経済やビジネスについて学ぶなど、いずれも経営学部の独自色あるプログラムであり、参加した学生はグローバルな視野を広げています。

一方、以前より公認会計士をはじめとする各種資格取得支援に力を注いでいます。2018年度は在学生6名、卒業生7名が公認会計士に合格し、近年は2桁の合格者を輩出しています。

昨年、学部指定の寄付制度が創設されたところ、多数の経営学部の御父母の皆様からご寄付を頂戴いたしました。心より感謝申し上げます。ご寄付は、海外研修や資格取得支援のために活かし、学生のさらなる学びに還元してまいります。

法学部

Faculty of Law

法学部は、昭和31（1956）年4月1日、法律学科第一部および第二部でスタートしました。昭和40（1965）年4月1日から、企業活動にかかる法律学と企業経営知識を総合的に具備した人材の育成という時代の要請に応え、第一部に経営法学科を新設しました。平成13（2001）年に、企業法務の重要性と企業活動の国際化という時代の変化により、経営法学科を企業法学科へと名称変更を行い、現在に至っています。卒業生は、法曹界を始め、公務員、一般企業のあらゆる分野において活躍をしています。

東洋大学法学部は、リーガルマインド（市民生活と職業生活に必須な素養として求められる論理的な思考方法と法的バランスのとれた総合的な認識・判断力（問題解決能力））の修得を目指します。また、グローバル化社会への対応のため、語学に関する基礎的な能力を身に付け、さらに、ビジネスの現場でも活用できる実務的な語学力の涵養を目的とした科目も用意しています。くわえて、外国の法制度や政治状況を学ぶための科目も置かれています。

※法学部では、毎月14（とーよー）日に連絡用のメールマガジンを配信しております。

以下ページからご登録下さい。<http://toyodaigakuhougakubu.renrank.mobi/>

社会学部

Faculty of Sociology

社会学部は1959年に発足して以来、理論・実証・実践を柱に教育体制を構築してきました。社会学の理論的な知識を学び、社会の諸問題を調べるための実証的な方法を身につけ、研究成果を社会に役立てるための実践的活動を行うというものです。発足当時の第1部2学科と第2部1学科の3学科体制から、現在の第1部5学科と第2部2学科の7学科体制に至るまで、この柱は変わっていませんが、社会で生じる問題が時代とともに多様化し増大してきたことに応じて、学部も拡大の一途をたどってきました。

学部教育の具体的な特長としては、実証的方法を学ぶための「実習」の充実をあげることができます。全学科に共通する「社会調査および実習」に加え、学科ごとに独自の実習科目を置いており、学生のみなさんが受け身の姿勢ではなく、自ら進んで調査や観察、実験などを計画して実施し、結果の報告や議論を行うという、「アクティブラーニング型」の学修に力を注いでいます。

国際地域学部

Faculty of Regional Development Studies

国際地域学部は1997年4月に、当学板倉キャンパスにおいて1学部1学科（国際地域学科245名）体制で創設された学部です。その後、国際観光学科、国際地域学科国際地域専攻を組み入れ、1学年の学生数約600名へと発展してきました。また、2013年4月から白山キャンパスへ移転し、現在に至っています。

当学部は、開学から今日まで、ビジネス社会で即戦力となり得る人材の養成に務めてきました。しかし、当学が志向するグローバル教育をより一層推進するために、国際学部と国際観光学部に分かれたことから、2017年4月から国際地域学部としての学生募集を停止いたしました。そして、現在は、学部教職員一丸となり、在学生全員の無事卒業を目指して、日々の教育、学生指導に励んでいます。

国際学部

Faculty of Global and Regional Studies

国際学部は2017年に新設され、現在2学科で約1200名の学生が学んでいます。

グローバル・イノベーション学科は、海外の高校等からの留学生の枠を学生の3割にし、さまざまな研修や演劇ワークショップなどを展開しており、グローバルかつイノベーティブな教育環境を整えています。さらに、国内からの学生に対しては長期留学を課しています。国際地域学科では、国内からの学生に対して初年次に5週間の海外英語実習を必須としてコミュニケーション力の向上と異文化の理解に図るとともに、国内外での調査型の研修、インターンやボランティアなどの実践的な活動を必須としてカリキュラムに組み込んでいます。

このような先進的なグローバル教育を展開し、グローバルな社会におけるさまざまな課題に対して、その社会システムにイノベーションを起こしうる人材やさまざまな地域において実践的な活動を展開できる人材の育成に取り組んでいます。

国際観光学部

Faculty of International Tourism Management

近年、訪日観光者が急増しています。例えば、2012年に約840万人だったそれが、2018年に約3,100万人へと約3.7倍に増えました。この結果、現在の日本は、さまざまな国ぐにや地域から観光者を迎えていました。

一方、来訪者の国籍が多様化するに従い、彼・彼女らの宗教、歴史や文化、または社会・経済制度を理解・尊重することが求められると同時に、外国人観光者と国内の地域社会や産業をいかに結び付けるかが課題になっています。また、交通手段や宿泊施設、または観光情報などの観光インフラ整備も必要です。

国際観光学部は、これまでの短期大学観光学科、国際地域学部国際観光学科を継承し、2017年4月に誕生いたしました。そして、いままでに生じているさまざまな課題を解決でき、観光を積極的に創造することで、まちづくりや地域活性化、または産業振興に寄与できる人材を育てたいと考えています。

ライフデザイン学部

Faculty of Human Life Design

ライフデザイン学部の各学科・専攻における教育内容や研究の対象は、文字通り「人とその生活」です。そして、それぞれの学科の教育の特徴は以下の通りです。

生活支援学科は、生活支援学専攻と子ども支援学専攻によって構成されており、高齢者・障害者・低所得者などの支援を行うためのソーシャルワークや、子どもの成長や子育てを支援する方法を学ぶ学科です。健康スポーツ学科は、人々の豊かな生涯生活を実現し、健康を維持・増進、さらには健康寿命延伸のためのスポーツ活動に関する知識と技術を学ぶ学科です。また人間環境デザイン学科では、ユニバーサルデザインを軸とし人の生活環境、空間、製品に関わる「モノとコト」のデザインについて学びます。

こうした3領域が連携・融合することにより、「人の生活の創造」すなわちライフデザインが実現されます。現在世界的に推進されているSDGs（国連による持続可能な開発目標）への貢献も期待される学部です。

理工学部

Faculty of Science and Engineering

理工学部は、1961年（昭和36年）川越キャンパス開設に合わせて設置された工学部を前身に、2009年（平成21年）の再編により現在の理工学部になりました。機械工学科、生体医工学科、電気電子情報工学科、応用化学科、都市環境デザイン学科、建築学科の6学科に約3,500人の学生が学んでいます。

教育の特色の一つに学習支援体制が充実していることが挙げられます。理工学分野の基礎となる数学・物理をはじめとした科目でのつまずきを防ぐため、元高校教員のスタッフを常駐させた学習支援室を設置し、日常的に学びのサポートを行っています。また、エンジニア教育の充実のため、大学院との接続も積極的にすすめています。

近年のグローバル化の進展により在校生に占める留学生の割合も急増し、国際色豊かなキャンパスになりました。英語教育にも力を入れており、グローバル・コミュニケーション・センター（GCS）によるTOEIC対策や留学サポートにも積極的に取り組んでいます。

総合情報学部

Faculty of Information Sciences and Arts

総合情報学部は、2009年4月に情報工学科、コンピュテーション工学科、機能ロボティクス学科を母体として、東洋大学10番目の学部として開設されました。開設以来、川越キャンパスで初の文系を取り入れた文理融合教育を実践してきましたが、お陰様で今年、満十歳を迎えました。1学部・1学科・3コース制になっています。システム情報コースでは、先導的なソフトウェア技術者育成の他に、Society5.0時代に向け、データサイエンス、AIおよび経営・ビジネス・地方創生に展開する能力を養うための文理融合型教育に力を入れています。心理・スポーツ情報コースでは、公認心理師とスポーツ関連のNSCAのCSCS、NSCA-CPTの資格取得に対応した教育を行っています。メディア文化コースでは、CGアート、メディア、放送、WEB／WEB配信等、ニーズの高い分野に合わせた、実践的できめ細かな教育を行っています。

生命科学部

Faculty of Life Sciences

遺伝子操作や細胞融合などからスタートしたバイオテクノロジーは、理学・農学・工学・医学などの分野で発展し、大きな技術革新を起こしました。これらの分野で行われていた「バイオテクノロジー」を統合したのが「生命科学」です。

東洋大学は1997年4月、他大学に先駆けてこの領域の重要性に着目し、生命科学部を誕生させました。2013年には現在の「生命科学科」と「応用生物科学科」の2学科体制（入学定員はそれぞれ113名）になり、生命科学部は今年で23年目を迎えます。

今、再生医療や食糧・環境問題などの“いのち”をとりまくさまざまな問題がクローズアップされ、このような課題に対して、生命科学分野からの貢献が期待されています。生命科学部は、生命現象の謎を遺伝子レベル、細胞レベル、個体レベルで明らかにし、学んだ知識と技術を用いて、医療・環境・農・食・教育などの分野で社会の発展に貢献できる人材育成を目指します。

食環境科学部

Faculty of Food and Nutritional Sciences

板倉キャンパスでは、1997年に生命科学部が創設され、当初は生命科学科のみでスタートしました。2009年には、応用生物科学科と食環境科学科が創設され3学科となりました。そして2013年には、新たに「健康栄養学科」を設け、生命科学部から分離した食環境科学科とともに、2学科で構成される「食環境科学部」が創設されました。

新たな学部として食環境科学部が創設された社会的背景は、言うまでも無く「食と健康」です。平均寿命の伸長と出生率の長期的な低下により、2050年には、ほぼ3人に1人が65歳以上となる超高齢社会を迎えるとともに、食生活の多様化による食習慣の乱れや運動不足等により生活習慣病が増加し、食と健康に関わる問題がクローズアップされています。

そこで、食環境科学科と健康栄養学科で構成される食環境科学部では、食品の機能科学や栄養・健康科学を総合的に探究し、これを高度な栄養指導に発展させ、生命と健康、食の安全に係る分野で活躍できる人材を育成し、国民が生涯にわたり健康で明るく、活力ある生活が送れる社会づくり、国際社会の先駆けとなる健康長寿社会の実現、健康寿命の延伸に貢献しています。

情報連携学部

Faculty of Information Networking for Innovation and Design

情報連携学部（Information Networking for Innovation and Design:INIAD）では、文理の枠を超えて、ネットワーク時代に対応した、新しいイノベーションを起こせる人間を創出することを目的としています。

1年次ではすべての学生がプログラミングとコミュニケーションを集中的に学び、チームを組んでコンピュータを使いこなし、情報を通じて連携するための素地を身に付けます。

2年次からは情報連携エンジニアリング、情報連携ビジネス、情報連携デザイン、情報連携シビルシステムの4分野に分かれて専門分野を学びますが、3年次には多様な専門分野をもった学生たちが、社会に出たときのように協力し合い、モノやサービスを作るというコース横断の連携実習も行っています。

さらに、最先端のIoTビルである赤羽台キャンパスと、社会や企業等との連携によって、学生がチャレンジできる環境を整え、創設者井上円了先生が掲げた教育理念である、自分で考えて行動できる学生を育てていきたいと考えています。



「海外派遣者数の拡大と 本学独自の支援制度について」

国際部国際課 主任 幡手 洋祐

本学は、2014年（平成26年）、文部科学省「スープラーグローバル大学創成支援事業」に採択された後、5年以上に渡ってグローバル人財の育成に取り組んできています。その取り組みは多岐に渡りますが、今回は、海外派遣者数の状況や海外派遣者に対する本学独自の支援制度について紹介させて頂きます。

まず、本学からの海外派遣者数の推移を見ると、2014年度（平成26年度）は延べ1,597名であったのに対し、2018年度（平成30年度）は同2,385名と、直近の4年間で1.5倍程度増加しています。派遣者の内訳を見ると、国際関係の学部・研究科に所属している学生に限らず、理工学部をはじめとする理系の学部・研究科所属の学生など、幅広い分野の学部・研究科所属の学生が海外研修等へ積極的に参加していることが確認できます。また、在学中に2回、3回と、複数回海外研修等に参加する学生も増えてきていることが近年の特徴として挙げられます。

こうした学生からの海外での学修に対するニーズの高まりに呼応し、国際教育センターおよび各部局では、海外留学・研修プログラムを年々拡充しています。夏季ないし春季休暇中に参加可能な短期プログラムとしては、語学力向上に主眼を置いた「語学セミナー」、海外の企業・団体等で就労経験を積む「短期海外インターンシップ・ボランティア」、東南アジア諸国において、現地学生との交流等を経て異文化を体験する「Diversity Voyage」、その他、専門分野の学びをより深めるための各学部・研究科による研修プログラムなどを提供しています。

また、1学期間以上の中長期留学として、留学先大学にて正規科目の履修・修得を目的とする「交換留学」や「認定留学」、国連事務所で勤務する「国連ユースボランティア」、米国「ワシントンセンター」でのインターンシッププログラムのほか、3～6カ月間にわたり本学の海外協定校附属語学学校において英語を集中的に学習する「協定校語学留学」があります。

2019年9月現在、本学は海外にある124の大学・機関と学生交換協定を締結しており、世界各国の大学の中から、学生自身の興味関心に合致した留学先を選択できる環境が整っています。

このようにして、冒頭でも述べた海外派遣者数増加という成果が表れてきていますが、その背景には、本学独自の海外派遣者に対する支援制度が存在します。

まず、「海外留学促進奨学金」は、海外派遣者の経済的支援に特化した本学独自の奨学金制度であり、学生は語学能力等に基づき7～300万円受給することができます。受給金額が語学試験のスコアに応じて変動するため、学生が海外渡航前から語学能力向上に励むための意欲喚起としての機能も果たしています。

また、英語特別教育科目「LEAP」や各種試験対策講座、ランゲージセンター教員による英作文の無料添削、各種語学資格試験の検定料補助など、留学開始前の語学学習を支援する制度が整備されています。その他、派遣前の学生を対象としたオリエンテーションの一環として、海外での安全管理に関するワークショップを開催し、留学中の危機管理に関する知識等を習得してもらえるよう努めています。

日頃、国際教育センターにおいて学生の様子を見ていると、海外留学を経験する前と後では、顔つきが大きく変化する学生を目にします。瑞々しい感性を有している若者だからこそ、海外の異文化や価値観に触れることで数多くのことを吸収し、自己の考え方の深化、そして成長へと繋げられるのではないかと考えます。

本学では引き続き国際社会でも活躍できるグローバル人財の育成を教育の柱の一つとし、今回ご紹介した海外派遣の拡大につきましても継続的に取り組んでまいりますので、保護者各位におかれましてもこの状況をご理解いただき、学生のグローバル化を後押ししていただけますと幸甚です。



「学生生活を支えるさまざま取り組み」

東洋大学学生部長 中原 美恵

学 生部学生支援課をはじめ、各キャンパス学生生活担当は、学生一人ひとりが充実した学生生活を送り、多くの貴重な出会いを通して逞しく成長していくよう、さまざまなサポートを展開しています。ここでは、今年度の本学学生支援のトピックについてお伝えします。

【課外活動を通した成長を支援する】

いよいよ来年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、本学の学生アスリートも卒業生アスリートも大いに活躍してくれています。9月開催のMGC（マラソングランドチャンピオンシップ）では、本学卒業生の活躍が光りました。そして、服部勇馬選手が見事オリンピック出場権を獲得しました。また、10月には、「第58回全日本50km競歩高畠大会」において、本学陸上部の川野将虎選手が日本新記録を樹立し、オリンピックの日本代表に内定しました。スポーツを通した人間形成は、本学の正課外教育の大きな柱ですが、近年の輝かしい成果はもとより、学生アスリートの誠実で真摯な姿勢は、応援する私たちにとっても大変誇らしいものです。また、本学では、東京2020大会を貴重な正課外教育の機会と捉え、これまで様々な取り組みを行ってきました。来年の大会では、スポーツを支える人材として、本学から多くの学生ボランティアが参加する予定です。

ご父母の皆様にも学生の課外活動の情報が届くよう、新たな仕組みを具体化する準備をしています。どうぞ、本学学生、卒業生の活躍にご期待いただき、一緒に応援いただけますようお願いいたします。まずは、1月の箱根駅伝では、ぜひ本学応援スポットにお出かけください。皆さんの声援が「一秒を削り出す」大きな力になります。

【奨学金制度と学生をつなぐ】

今年度、国は、大学で学ぶ学生を経済的に支える新たな支援制度を創設しました。これからの日本を支える若者たちの学ぶ意欲を積極的に高等教育につなぐ奨

学制度です。これは、既に本学に在籍している学生も対象となる制度ですので、10月に国の説明を受け、大わらわで本学の在校生申請体制を整えました。これまでも、各キャンパス学生生活担当は、多様な奨学金制度の情報を収集し、必要とする学生をつなぐ修学支援業務を担ってきましたが、新たな支援制度が始まることにより、今後、一層この役割は重要になると感じています。

【学生の安全、安心を守る】

2018年7月に健康増進法の一部を改正する法律が成立し、2020年4月1日より全面施行されます。東京都では、一足先に本年7月1日より関連条例が施行されました。これにより、望まない受動喫煙を防止するための取り組みは、マナーからルールへと変わりました。白山キャンパスでは、これまでの屋外喫煙所は撤去され、1カ所を除き、指定喫煙場所は屋上としました。学生部では、学内を巡視していますが、これまで大きなトラブルはありません。なお、赤羽台キャンパスは全面禁煙です。また、東京都以外の各キャンパスでも受動喫煙防止の取り組みが進められています。ご父母の皆様がご来校の際には、特定喫煙所等をご確認いただけますようお願いいたします。

【学生一人ひとりのウェルネスの実現を目指して —この1年の取り組み—】

2018年10月に開設された東洋大学ウェルネスセンターも、この一年の間、さまざまな活動を展開してきました。この間、甫水会の皆様より多大なるご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。まだ手探りの歩みではありますが、ウェルネスの実現に向けたセンターの活動をご紹介させていただきます。

東洋大学ウェルネスセンターは、学生一人ひとりの「ウェルネス（wellness）」の実現を支援することを目的とした活動を行っています。ウェルネス（Wellness）とは、米国のHalver L. Dunnが提唱したより積極的な健康の概念ですが、これを「自らの健康な力を高め



るとともに、それを活用してより積極的に生きようとする意志と実行力を有する状態」と捉え、センターの名称としたものです。本学の学生一人ひとりが自己の素質や持つうる能力を最大限に活用してより積極的に生きられるよう、大学として支援していきたいという思いが込められています。

ウェルネスセンターの中核を担うのは、医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士等の国家資格を持つ専門職スタッフです。保健管理室には、メンタルヘルスに関わる専門職が配置され、学生サポート室の臨床心理士も増員しました。本学の5つのキャンパスに勤務する学生相談員（臨床心理士）は、現在17名となります。

学生の適応にかかる支援が一層充実し、どのキャンパスにおいても、カウンセリングや修学環境の調整が積極的に行われています。また、各キャンパスの学生相談員が企画をして、安心できる居場所づくりや人間関係づくりのイベントやグループワークを展開しています。

白山キャンパスのピアサポートルームには、キャンパス・ソーシャルワーカーが3名配置されました。障がいがある学生の支援を担当するほか、生活の相談や福祉サービスの紹介など、学生の立場に立って、成長を支援する活動を行っています。

「ピアサポート（Peer support）」には、同じような立場の仲間が相互に助け合い、支え合うという意味があります。本学には、視覚や聴覚に障がいがある学生の授業支援をしてくれているボランティア学生が何人もいます。毎年、希望者を募り、研修を行って、仲間（peer）を増やしてきました。誰かの支えが必要な学生と、誰かを支える力になりたい学生がピアサポートルームで出会い、お互いに「より輝いて生きる自分」を見つけられよう、応援していきたいと思います。そ

れこそが一人ひとりのウェルネスの実現につながるからです。

近年、発達障がいや性的マイノリティ、キャンパス・ハラスメントなど、大学における学生支援のニーズは、多様化しています。これまでの10年の変化も大きなものでしたが、これから10年を想った時、学生支援の新たな課題に対応しうる支援体制が求められています。

本学学生一人ひとりが心身の健康を保ち、充実した学生生活を送れるよう、学生部では、これからも様々な学生支援の取り組みを行ってまいります。甫水会の皆様には、これまで同様、本学の学生支援事業を応援いただき、学生の成長を力強く後押ししていただけますよう、心よりお願ひ申し上げます。

[大切なお知らせとお願ひ]

東京2020オリンピック・パラリンピック大会に関連して日本武道館が使用できないため、今年度の卒業式は、各キャンパスでの実施となります。学生部では、卒業する四年生にとって2020年3月23日が心に残る一日となるよう、関係部署と連携しながら準備を進めております。Webページに関連情報を掲載いたしますので、ご確認いただけますようお願ひいたします。

また、ご父母の皆様に大切なお願ひです。各キャンパス学生生活担当には、学生の事件、事故の情報が日々入ってきます。これらに迅速に対応するため、学生部では、緊急時のご家庭との連絡体制の整備を進めております。在籍するキャンパスから緊急連絡が入りました場合に、お受け取りいただけるよう、学生生活担当の電話番号を一度ご確認いただければと思います。ちなみに、全キャンパスにおける救急車出動要請は昨年度一年間で18件でした。学生の安全・安心を守る学生生活担当とのパイプを確かなものとしていただけますようお願ひいたします。

はじめに

平素より、就職・キャリア支援部の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年も各キャンパスで「父母懇談会」、全国各地での「地区別父母懇談会」が開催され、多くの皆さんにご参加いただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今年も企業側の採用活動は、「3月広報活動解禁・6月選考活動解禁」と、昨年度と同じ動きでしたが、実際は昨年度より選考スケジュールを早めた企業が多く見られ、中にはGW前に内々定を出す企業もありました。

また3年生向けを中心にインターンシップ実施企業が増え、それに伴い学生も「就職活動本番の前段としてインターンシップに参加する」ことが当たり前となりました。

こうした変化とそれに対する就職・キャリア支援部の取組みを、これからも父母懇談会での講演等を通じて皆さんにお伝えできればと考えております。

4年生の就職状況について

就職内定率につきましては、現在調査中です。

今年度の途中報告としましては、経団連の指針どおり6月に選考をスタートした企業は全体の一部に留まり、多くの企業はそれより早い時期に選考を開始しました。企業の採用意欲は昨年度同様に高めで、複数企業から内々定を得て選択に迷う学生も見受けられました。

しかし進路決定に向けて活動をしている学生もまだ多くおります。3月まで例年企業からの求人は届きますので、最後まで諦めず、粘り強く活動を続けることが大切です。

特にこれからは、

- ①本学求人サイト（求人ナビ）の求人情報の活用
 - ②本学へ来訪された企業の求人情報の活用や学内求人イベントの活用
 - ③各キャンパスの就職支援室の活用と、職員・相談員による個別相談の利用
- をお勧めします。

なおイベントのお知らせは、学生向けポータルサイト「ToyoNet-Gの就職情報」の他、掲示・学内放送・DMなどで行っています。

3年生の就職状況について

現在就職活動本番に向けて準備をするための「就職活動支援セミナー」が各キャンパスで進行中です。次年度も企業側の採用活動スケジュールは同じですが、特に首都圏はオリンピックイヤーということもあり、選考等で各企業の動き出しが更に早くなる事も予測されます。従って大学で実施する支援セミナーに早くから参加し、社会の状況を把握するとともに、就職活動全体の流れと対策を把握することが大切です。

支援セミナーでは、ワークも交えながら、採用試験に必要なエッセンスを修得します。具体的には、自分の将来と就職活動を結びつける自己分析や、企業の見つけ方、エントリーシートの書き方、面接対策など、多岐に渡る内容です。また、業界・職種研究、SPI・一般常識テスト・Webテスト対策、ビジネスマナー、人事担当者の講演などのイベントも平行して実施します。

現時点で具体的な希望進路を決めていない学生も、公務員・教員を希望する学生も、これらのセミナーに参加することを奨励しています。自立した大人として社会で働くための準備に、きっと役立つと考えています。

1・2年生からの就職準備について

将来の就職活動をスムーズに進めるための準備を、少しづつ進めましょう。それには低学年から意欲的・積極的に学生生活を送ることがまずは重要です。ゼミや国内外のインターンシップ・ボランティアなど多様な経験にチャレンジすることが大切で、その上で大学が行うインターンシップ支援や業界理解・職種理解セミナーといった行事に参加し、職業観の醸成を少しづつ意識していただければと思います。

最後になりますが、現在就活スケジュールの見直し議論が行われています。将来スケジュールの変更があった場合は、本学の就活支援スケジュールも必要に合わせて見直しを行う予定です。引き続き保護者の皆さまのご支援を、よろしくお願い申し上げます。

I 納付金の納入方法と時期

毎年、納付金の納入にご協力いただきましてありがとうございます。
納付金について、毎年多くお問い合わせいただく内容を中心に説明します。
納付金振込用紙は、3月末に次の学年に必要な金額を記載し、郵送します。

①振込用紙の送付先

第1部……保証人住所
第2部……入学時に選択した、本人または保証人住所
転居等により送付先の変更を希望される方は、2月末までに、学生本人を通して届け出てください。

②納付金の納入方法

本学では納入方法として、次の2つの手段を導入しています。
銀行振込……金融機関窓口で納入する方法です。三井住友銀行の本支店窓口をご利用いただくと、手数料が無料になります。全国の他の金融機関でもお振込いただけますが、手数料はご負担ください。
ペイジー……金融機関ATMやインターネットバンキングからご利用いただける決済サービスです。手数料は税込330円の定額となっています。期間内であれば金融機関窓口の閉店後であってもご利用いただけます。
なお、大学窓口での現金による受付は行っておりません。

③納付金の分割納入

納付金は全額一括納入が原則です。ただし、授業料・一般施設設備資金・実験実習料・教育充実料は、年2回の分割納入ができます。
全納……年間必要額を一括して納入
分納……年間必要額を春学期と秋学期の2回に分けて納入
全納用と分納用の振込用紙をお送りしますので、納入時に選択してください。分納を選択された方の秋学期用振込用紙は、9月末に大学より郵送します。

④納入期間

春学期……4月1日～4月24日
秋学期……10月1日～10月15日
納入期間は各年度の曜日により変動します。振込用紙記載の振込期間を必ずご確認ください。

II 納付金の内訳

納付金は、「学費」と「その他の費用」に区分されます。
学費……入学金・授業料・一般施設設備資金
学部・学科により、実験実習料・教育充実料
その他の費用……甫水会費・学生課外活動育成会費

III 学籍異動に係る納付金について

休学・退学・原級（留年）等、学籍異動時には必要な納付金が変わります。
なお、休学・退学により徴収対象外となる学費がある場合は、返金いたします。
休学……各学期期首付での休学が認められた場合、一般施設設備資金の半額と、その他の費用を納めていただきます。
原級（留年）……4年生で原級（留年）する場合、当該年度の正規4年生の納付金と同額になります。そのため、前年度までと学費の金額が変わることがあります。原級された後は、納付金の納入は学期ごとになります。
退学……各学期の納入期間内に退学の手続きが完了した場合、前学期末付での退学となり、納付金を納入する必要はありません。
なお、学籍異動の「許可願」が受理された日により学籍異動の効力が発生する日付が異なります。
申請手続きについて、ご不明な点は、各学部教務担当課にお問い合わせください。

IV 納付金についてのお問い合わせ先

振込用紙の未着や紛失、支払額の詳細など納付金に関するお問い合わせやご相談はテレフォンガイドを参照願います。また、東洋大学ホームページでも詳細をご覧になれます。

甫水会活動

2018年度甫水会活動報告（2019年度評議員会資料抜粋）

2018年度事業報告

東洋大学においては、昨年4月にスタートした白山キャンパスの国際学部(グローバル・イノベーション学科、国際地域学科国際地域専攻、地域総合専攻)、国際観光学部国際観光学科、文学部国際文化コミュニケーション学科、赤羽台キャンパスの情報連携学部情報連携学科の教育研究活動も順調に推移しており、既存の学部学科を含めて、これまで以上にいっそう進展が図られています。

「東洋大学は世界標準の教育と研究、社会貢献活動を推進するのみならず、国際的に優れた水準の大学を目指す」といった「未来宣言」の実現を目指し、ワールドクラスの大学への道が着実に踏み出されています。

東洋大学甫水会は、1959年1月父兄会とし設立されから今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は学生の保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること」を目的としており、2019年度で創設60年目を迎えることになります。

2018年度は、甫水会として大学の掲げる目標及び事業を支援するとともに、60周年記念事業が会員とご子息ご息女各位にとって、実り多きものとなるように、次の基本方針に基づき実施しました。

1. 60周年記念事業に向けた新たな学生支援方策の検討及び実施
2. 経済的困窮学生支援に対する体制の整備充実(奨学金支給基準の整備と支給の充実)
3. 学生に対する課外活動及び就職活動の支援充実(支援方法の見直し含む)
4. 甫水会主催行事の参加促進と本部及び支部活動の活性化のための体制整備

以下、去る2018年5月の評議員会で承認された事業計画に基づき、大学との「協働」及び「連携」のもと執行した事業実施概要を報告いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1)評議員会

2018年5月26日14時より東洋大学白山キャンパス2号館16階スカイホールにおいて、会則第21条に基づき開催され、評議員72名が出席して、議長、副議長選出、議事録署名人を選任後、議案について審議を行った。

(2)理事会

常任理事と地区長理事で構成され、会則第4章役員第8条に基づき、開催された。

- ①2017年度 第2回理事会 2018年4月14日開催
- ②2018年度 第1回理事会 2018年11月10日開催

(3)常任理事会

会則第4章役員第9条に基づき、月1回の定例会議(但し、7・8月は除く)を開催し、業務を執行した。

- ①2017年度 第9回常任理事会 2018年4月14日
第10回常任理事会 2018年5月12日
- ②2018年度 第1回常任理事会 2018年6月2日
第2回常任理事会 2018年9月1日
第3回常任理事会 2018年10月13日
第4回常任理事会 2018年11月10日
第5回常任理事会 2018年12月8日
第6回常任理事会 2019年1月12日
第7回常任理事会 2019年2月2日
第8回常任理事会 2019年3月9日
臨時常任理事会 2019年3月23日

(4)常任理事会内委員会

必要に応じて業務を執行した。

(5)役員選考委員会

会則第6条に基づき、全国56支部より選出し、次期役員候補者を選考するため、2019年1月19日に開催した。

(6)地区別支部長会議

会則第39条に基づき、本部・支部活動の円滑な連携と地区的活性化を目的とし、地区長主催で全国10地区において実施され、各実施日程は次の通り。

関東15支部・甲信越3支部・北陸2支部(2019年2月2日)、北海道5支部・東北6支部・東海4支部・近畿4支部・四国4支部(2月16日)、中国5支部・九州8支部(2月23日)

(7)全国56支部長研修会

2018年9月8日(土)に白山キャンパス5号館5B12教室で開催した。

本部主催で全国56支部長(代理含)の参加による、「甫水会諸規程」および「支部関係業務処理に関する取扱い」を主とした研修を行った。

【行事】

(1)父母懇談会

- ①学生が在籍する校舎(白山、川越、板倉、朝霞、赤羽台)ごとに「学部別父母懇談会」が6月に実施され、大学教職員による「履修・成績及び学生生活・就職」等

校舎	学部	申込会員数	参加者数	実施日
白山	文学部	154	147	6/24(日)
	経済学部	118	107	
	経営学部	159	155	
	法学部	98	86	
	社会学部	188	165	
	国際地域学部	25	23	
	国際学部	53	53	
	国際観光学部	51	52	
川越	理工学部	218	269	6/24(日)
	総合情報学部	69		
朝霞	ライフデザイン学部	103	90	6/23(土)
板倉	生命科学部	58	57	6/23(土)
	食環境科学部	75	76	
赤羽台	情報連携学部	153	144	6/17(日)
出席者合計		1,523	1,424	

について説明及び個別面談がなされた。

- ②関東地区を除く全国26会場にて「地区別父母懇談会」が開催され、参加者は731名であった。
大学教職員及び本部役員が出張し、「履修・成績及び学生生活・就職」等について説明・面談を実施した。

(2)会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を図ることを目的とし、白山キャンパス井上円了ホールにおいて11月11日(日)に開催した。

午前中には白山キャンパスマナーを実施し、午後からは、東洋大学竹村牧男学長および、甫水会荻野雅彦会長からの挨拶の後、就職フォーラムが実施され、(株)人材研究所 代表取締役 曽和利光氏より「就活生の親が知つておくべき現在の就活環境」と題した講演がなされた。

次いで、前年度就職の卒業生、佐藤志行さん(文学部)、蜂谷りりさん(経済学部)、飯島義人さん(文学部)、鴨志田栄汰さん(ライフデザイン学部)、齋藤容一朗さん(理工学研究科)、今野愛さん(総合情報学部)、佐藤澪月さん(食環境科学部)の7名と、甫水会会長、副会長3名によるパネルディスカッションが行われ、「就職に際して学生が父母に望むこと、父母が学生に望むこと」と題し、意見が交わされた。

2018年度の参加者は、924名であった。なお、過去の参加者は、2009年度は546名、2010年度は330名、2011年度は228名、2012年度は472名、2013年度は383名、2014年度は516名、2015年度は635名、2016年度は615名、2017年度は694名となっている。

2. 学生支援諸制度

(1)奨学生制度

- ①家計急変者対象(従来の甫水会奨学金)
「奨学生規程」に基づき、常任理事会において選考の結果、奨学生として2名採用した。

②その他(新規)

今年度、新規に創設された就職活動補償奨学金は常任理事会において選考の結果、奨学生として1名採用した。

(2)学生クラブ・サークル、学術研究等援助・表彰制度

学生クラブ・サークル活動(運動部・文化部・学術研究サークル・ゼミ等)に対し、学生部と連携して申請が出された13サークル、スポーツ東洋新聞等広告掲載料として援助した。また、学生部と連携して、「援助・表彰基準」により、1部体育会・2部体育会の団体の部8団体、個人の部47名への表彰と褒賞金を援助した。

(3)国際化の支援

今年度、大学担当部署と協議して支部行事の実施等試みたが、実施に至らなかった。次年度に向けて、実施体制の整備を図りたい。

(4)就職活動支援

- ①ビジネススーツ等購入支援(紳士服販売業者と提携して無料配布)

東洋大学第2種奨学金受給者(3年生)等を対象に就活グッズ無料引換券を89名に配布した。

②参加者へ大学名入り履歴書を3,423名に配布した。

- ③「カードミラー」を1,900枚作成し、池袋サンシャインシティで実施した「東洋大学企業説明会11学部合同就活LIVE」等で配布した。

(5)学生の食育支援

全学生を対象とした朝食支援

今年度も申請に基づき、2018年度7月春学期5キャンパス学生食堂にて、学生に期間限定で朝食提供補助889食数援助、および1月秋学期は、979食数援助した。

朝食支援の補填として、牛乳、グラノーラなどの軽食を東洋大学生活協同組合に委託し提供した。また、板倉キャンパスの図書館での、「図書館de朝カフェ」の実施に際して、ヨーグルト、牛乳、グラノーラ等の軽食を提供した。

(6)東洋大学社会貢献センター学内講座甫水会援助制度

東洋大学社会貢献センター学内講座の実施伴い、申請に基づき対象資格に合格した学生42名に対して援助した。なお、援助は、他学部との褒賞金とは重複しないことを前提とした。

(7)弔慰金制度

「弔慰金規程」に基づき、会員の申請に基づき次の4名に支給した。

(8)学生総合補償制度

1年生の甫水会会員を対象とした任意加入の学生総合補償制度。2018年度は270名が加入した。

3. 甫水会費の徴収・支部運営費の交付

(1)甫水会費の徴収

甫水会費は、1部学生については、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収している。2部学生については、任意加入とし、本部に納入された。

(2)支部運営費

- ①支部運営費は、甫水会費を納入した会員の所属する6月支部会員数1人当たり1,000円を乗じて算定した。さらに会員が1,000名未満支部については、100,000円を加算し、本部から年1回6月に26,595名分を支部運営費として支出した。

- ②支部開催事業(就職説明会、文化・体育活動等、その他主たる目的が会員親睦である活動以外の活動を目的とした支部行事)に対して、20支部主催行事に援助した。

- ③地区長主催で全国6地区において、地区別支部長会議開催に伴う会場費等の経費について、10万円を上限として本部において負担援助した。

4. 就職関係

(1)就職関連講演会等の実施

就職説明会開催希望支部について、講師選定と派遣について大学と協議した。なお、大学教職員を講師派遣する場合の旅費交通費等は大学側の負担とした。

(2)大学の就職支援体制等のプレゼンツールの作成

パワーポイントでのプレゼンテーションの内容を、ナレーション動画化する「PIP Maker」システムを導入し、

大学の近況、就職環境及び支援体制、留学支援体制の3つの事項について、作成した。父母懇談会で使用したほか、支部行事の活性化を図るべく各支部に配布した。

5. 大学事業(行事)に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本とした。

(1)父母懇談会および甫水会支部総会開催に伴う経費

2015年度より大学主催の父母懇談会開催に伴い、甫水会本部と各支部の実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働体制で実施を支援した。全国で開催された「地区別父母懇談会並びに甫水会支部総会」の実施経費のうち、会場費等については、大学との連携と協働体制のもと、甫水会が負担支出した。

(2)父母専用相談窓口運営の設置

2015年度開設した父母専用相談窓口(父母ホットライン)の運営について、引き続き大学と協働して推進し、131件の問い合わせがあった。

(3)交換留学生等の受入れ支援

今年度、担当部署と協議して試みたが、実施に至らなかった。次年度に向けて、実施体制の整備を図りたい。

(4)新入生父母に対する説明会実施に伴う経費

学部主催「新入生父母に対する説明会」(入学式当日に実施)に、大学職員を交えて、本部役員による甫水会の案内説明を行った。援助金執行はなかった。

(5)「井上円了が志したものとは」に対する援助

井上円了記念学術センターの企画・実施、実行委員会を構成、その運営費の一部を負担援助した。

(6)卒業記念品

卒業記念品購入代金として大学・校友会・本会の三者負担による分担金を援助した。

(7)全学的な行事に対する援助

白山祭・こもれび祭(川越)・朝華祭(朝霞)・雷祭(板倉)の4校舎の大学祭の実行委員会に対して援助金を支出した。さらに、川越、朝霞、板倉の3校舎で実施されたスポーツ大会に援助金を支出した。

(8)留学生団体等に対する援助

留学生連合会等団体の活動に対し援助金を支出した。

(9)学部行事等(ゼミナール単位での取組み含む)に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「甫水会会長賞」として授与した。

具体的な内容は次の通り。

①法学部新入生行事に対して、ポケット六法42冊を授与し、また法学部法律討論会および法学部ゼミ発表会に援助した。

②国際地域学部の日本語・中国語弁論大会へ援助した。

③障がい学生支援ボランティア活動における功労者に対する表彰を行い、3年生10名へ表彰状を授与、4年生5名へ表彰状授与し、功労金を支給した。

(10)「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力

「創立150周年に向けて国際的に優れた水準の大学を目

指す。」といった「未来宣言」の実現を支援すべく、大学の寄付募金の趣意に添った形で寄付を行った。

「奨学事業の展開」、「課外活動支援」の寄付を行った。

(11)会長施策重点支援事業費

昨年に引き続き、2019年1月2日「東洋大学甫水会第95回箱根駅伝応援ツアー(日帰り)」を実施し、バス運行委託等の経費を支出した。参加者は72名で、一部経費負担として1人3,000円の参加費を徴収した。

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学・校友会が年間行事として実施する祭事等に、甫水会代表者を派遣・協力した。

2018年4月6日	入学式
2018年4月20日	2018年度新入留学生歓迎会
2018年5月19日	東洋大学校友会支部長会
2018年6月6日	学祖祭
2018年10月7日	校友会「平和祈念之碑に集う会」
2018年10月28日	東洋大学校友会校友大会
2018年11月3日	哲学堂祭
2018年12月21日	留学生連合会年末交流会
2019年1月15日	井上円了が志したものとは表彰式
2019年3月7日	一部・二部体育会表彰式
2019年3月14日	校友会学生研究奨励基金授与式
2019年3月23日	卒業式

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施した。「会員のしおり」及び「会報東洋」の発送は、大学の送付物に同封し発行した。

(1)甫水会本部発行物

①新入生対象の「会員のしおり」

——年1回(2018年12月発行)

②全会員対象の「会報東洋」

——年1回(2019年3月発行)

③本部役員及び支部長対象の「甫水会ジャーナル」

——年2回(2018年4月発行・10月発行)

④新会員(新入生のご父母)向けのリーフレット作成

甫水会活動の目的と内容をわかりやすく説明するとともに、行事に参加することのメリットをアピールするために、新1年生の保証人へ送付して、甫水会本部及び支部行事への参加の促進を図った。

(2)甫水会ホームページの充実

東洋大学ホームページにリンクして、大学と甫水会との情報の共有化を図り、情報提供を強化した。

(3)キャンパスガイドの作成

赤羽台キャンパスの追加等、新規施設、設備の紹介を含め、次年度に繰越しする。

(4)本部及び支部活動促進のためのグッズ作成(当年度役員就任者への配布)

当年度支部役員就任のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的にモバイルバッテリーを作成し配付した。

8. 会員情報管理システム

甫水会本部では、大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持及び安全管理に関する契約書」を締結し、会員情報の運用管理について適正な管理に努めている。

大学の教務部門のシステム情報を利用し、会費納入処理等を行っているほか、会員情報管理システムの運営管理については、2014年度からは、卒業生・甫水会連携推進課に依頼しており、同推進課のデータ提供により、支部要請の宛名ラベルを甫水会本部で作成している。

宛名ラベル等の支部への提供に際しては、「個人情報保護法」に基づき適切に管理されるよう、引き続き支部に対して協力をお願いしている。

ホームページについては、大学側ホームページにリンクし、大学の広報課と連携して、データ更新の円滑化と会員の閲覧の便宜性を確保している。

9. 会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

会員の参加促進を図るべく、父母懇談会実施に際しては、昨年度作成したハンドタオルの在庫分を配付した。11月11日実施「会員の集い・就職フォーラム」用に、新規グッズ(クッキー及びクリアファイル)を作成し配付した。

就職説明(懇談)会

月 日	曜	支 部	場 所	事務説明者(敬称略)	出席者数
6月30日	土	茨城県	牛久市エスカード生涯学習センター	外部講師 川田 英利	95
7月1日	日	埼玉県南	浦和ロイヤルパインズホテル	外部講師 山本 みどり	102
7日	土	埼玉県東	春日部市民文化会館	外部講師 山本 みどり	43
14日	土	埼玉県北	埼玉グランドホテル深谷	准教授 小島 貴子	41
14日	土	千葉県西	市川グランドホテル	外部講師 川田 英利	60
15日	日	千葉県東	千葉市生涯学習センター	課長補佐 西澤 昌子	60
22日	日	栃木県	コンサーレ	外部講師 山本 みどり	41
10月14日	日	群馬県	前橋商工会議所	外部講師 小堀 琢己 外部講師 山本 みどり 外部講師 清水 星弥	61
11月3日	土	静岡県	静岡県男女共同参画センター	外部講師 亀田 良介 外部講師 藤田 義之 卒業生 増野 雄人	86
11月17日	土	秋田県	第一会館 本館	外部講師 高出 実 外部講師 濱谷 拓也 外部講師 三浦 卓実	23
11月17日	土	山形県	山形国際ホテル	外部講師 河地 修一 校友会 半澤 経一	26
11月17日	土	福島県	郡山市労働福祉会館	卒業生 佐藤 亜紗美 卒業生 西村 宇恭 外部講師 佐藤 吉之	60
2月16日	土	神奈川県	鎌倉芸術館	外部講師 山本 みどり	55
合 計					753

大学施設設備校舎見学会

月 日	曜	支 部	場 所	出席者数
11月3日	土	茨城県	白山キャンパス	38
12月1日	土	栃木県	板倉キャンパス・白山キャンパス	30
1日	土	群馬県	川越キャンパス・白山キャンパス	30
合 計				98

支部事業関係

(1)支部総会

各支部で実施した。

2015年度より実施の大学主催の「父母懇談会」開催に伴い、関東地区以外の支部については、原則として支部総会開催は、大学主催の父母懇談会開催日と同日の同じ会場で実施した。関東地区支部は、従来通り支部総会は別途の独自で開催している。

①支部総会……56支部 会員数26,220名

②開催日……2019年6月30日～9月2日

③出席者……1,242名

(2)支部行事

就職説明会・講演・研修会等支部主催行事については、支部からの開催要望に基づき、日程及び派遣者依頼願いについて大学側と調整した。また、講演・研修会等の講師について、大学教員を希望する場合については、本部からの紹介を含め協力した。

甫水会の支部主催行事援助金支給規程に基づき、援助金申請提出の支部に対して援助金を支出した。

講演・研修会等

月 日	曜	支 部	講演会・研修会等/内容	講演者(敬称略) / 場所	出席者数
4月29日	日	愛媛県	第35回全日本大学選抜相撲宇和島大会場所 応援	宇和島市営闘牛場	2
5月 3日	木	大分県	第58回全国大学選抜相撲宇佐大会応援	宇佐市総合運動場宇佐相撲場	10
6月30日	土	東京都・城東 城西・中央・ 城北	講演:「日本文化の伝承者」 落語:「悟気の独楽」 合同懇親会	落語家 林家 あんこ 本学チアサークル「ミニーズ」 東洋大学白山キャンパス	75 80
7月 1日	日	東京都多摩	「学生のメンタルヘルスの現状とその対応」～「主体性」を育む親子関係を築くために～	東洋大学学生相談室/臨床心理士・大学カウンセラー 中村 家子 立川グランドホテル	49
1 日	日	京都・滋賀県	「萩野公介と共に歩んだ日々と子供を支える家族のチカラ」	元甫水会長・萩野公介選手フィジカルコーチ 茂木 明男 南区暮らしの工房館&Kotoホール	5
7 日	土	埼玉県中央	「ひとこと=プラスアルファ～大学生協「ひとことカード」の場合～」	東洋大学学生生協 白山店店長 白石昌則 川越東武ホテル	60
22日	日	栃木県	「東洋大学は今」	東洋大学常務理事 大熊廣一 コンサーレ2Fアイリスホール	41
29日	日	神奈川県	「晰(はなし)からみた親子関係」	三遊亭萬窓 ホテル横浜ガーデン	65
9月 2日	日	新潟県	山古志支援 駅伝チームの激励	新潟県山古志復興記念館 おらたる	13
29日	土	東京都城西	迎賓館赤坂離宮日帰り研修	迎賓館赤坂離宮	13
10月 7日	日	埼玉県東	研修(懇親)旅行	山梨県立リニア見学センター他	55
8 日	月	鳥取県	第30回出雲全日本大学選抜駅伝競走応援	出雲ドーム等	17
8 日	月	島根県	第30回出雲全日本大学選抜駅伝競走応援	出雲ドーム等	6
8 日	月	広島県	第30回出雲全日本大学選抜駅伝競走応援	出雲ドーム等	31
8 日	月	山口県	第30回出雲全日本大学選抜駅伝競走応援	出雲ドーム等	8
13日	土	東京都城東	料理教室「家庭で作るイタリアンとおしゃれなサラダ&スイーツ」	岩谷すみ子 江東区総合区民センター	23
14日	日	富山県	滑川はたるいかマラソン 東洋大学陸上部女子長距離応援企画	富山県滑川市内	13
21日	日	埼玉県南	研修(懇親)旅行	埼玉県(グリコピア・イースト工場、高麗神社等)	45
27日	土	埼玉県北	研修(懇親)旅行	長野県(善光寺、軽井沢アウトレット)	32
28日	日	東京都多摩	研修(懇親)旅行	群馬県(富岡製糸場、こんにゃくパーク)	47
11月 3日	土	東京都城西	哲学堂祭参列および懇親会	哲学堂他	17
3 日	土	東京都中央	哲学堂祭参列および懇親昼食会	哲学堂他	5
11月 3日	土	石川県・福井県	第96回全国学生相撲選手権大会応援	両国国技館	8
4 日	日	東京都中央	第96回全国学生相撲選手権大会応援	両国国技館	10
4 日	日	東京都城西	第96回全国学生相撲選手権大会応援	両国国技館	9
4 日	日	神奈川県	第96回全国学生相撲選手権大会応援および懇親会	両国国技館、江戸東京博物館	26
4 日	日	三重県	第50回全日本大学駅伝応援および交流会	宇治橋ゴール地点、食事処くよし	20
17日	土	埼玉県中央	研修(懇親)旅行	山梨県(山中湖、忍野八海等)	55
18日	日	千葉県西	研修(懇親)会	古典芸能鑑賞会、国立演芸場	55
18日	日	山梨県	研修(懇親)旅行	山梨県(河口湖セミナーハウス、富士急ハイランドリゾートホテル&スパ)	19
12月 1日	土	東京都中央	東洋大学混成合唱団グリークラブ 第56回定期演奏会鑑賞会	杉並公会堂	11
1 日	土	岡山県	研修(懇親)旅行	岡山県(国立療養所長島愛生園、牡蠣の養殖場)	6
25日 ～29日	火 土	北海道釧路	第91回日本学生氷上大会(インカレ) 苫小牧 応援	苫小牧市白鳥王子アイスアリーナ	7
25日 ～29日	火 土	青森県	第91回日本学生氷上大会(インカレ) 苫小牧 応援	苫小牧市白鳥王子アイスアリーナ	6
1月 2日 3日	水 木	岩手県	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース	3
2 日	水	神奈川県	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(横浜駅、藤沢、小田原駅近辺)	35
2 日	水	山梨県	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(往路ゴール付近)	27
3 日	木	茨城県	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(日比谷公園日比谷門前)	19
3 日	木	埼玉県中央	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(西新橋2丁目交差点付近)	15
3 日	木	埼玉県東	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(日比谷公園前)	55
3 日	木	埼玉県南	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(日比谷公園花壇前他)	25
3 日	木	千葉県西	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(大手町パシフィックセンチュリーモール)	50
3 日	木	東京都城西	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(大手町、日比谷花壇前)	17
3 日	木	東京都中央	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(日比谷花壇前)	14
3 日	木	東京都城北	第95回東京箱根間往復大学駅伝競走応援	東京箱根間往復大学駅伝競走コース(芝公園路上)	20
26日	土	北海道 札幌・函館	「東洋大学の現状と未来」	東洋大学常務理事 大熊廣一、札幌パークホテル	42
27日	日	東京都城北	研修(懇親)旅行	茨城県(JAXAつくば宇宙センター、筑波ハム、つくば山水亭、牛久大仏	75
2月 9日	土	東京都城東	研修(懇親)旅行	神奈川県(三浦市、横浜市)	61
10日	日	千葉県西	研修(懇親)旅行	埼玉県(川越)	37
24日	日	東京都城西	研修(懇親)旅行	埼玉県(川越キャンパス、川越城本丸御殿)	24
3月 2日	土	東京都中央	研修(懇親)会	百段雛まつり見学&ランチ会、目黒雅叙園	22
3 日	日	東京都城北	研修(懇親)会	国立西洋美術館、韻松亭	22
10日	日	東京都多摩	立川シティーハーフマラソン応援と懇親会	昭和記念公園、Pizzeria YUICHIRO & A	40
23日	土	東京都城西	研修(懇親)会	新宿御苑	5
			合 計		1,552

甫水会収支関係

甫水会費	年額5,000円
第1部	26,358名 131,790,000円
第2部	364名 1,820,000円
	26,722名 133,610,000円
※自然災害学生（免除）	1名
	△5,000円

2018年度会計報告

2018年度決算は、4月及び5月に開催されました理事会・評議員会において、承認されました。

2018年度一般会計決算報告書

自 2018年4月1日～至 2019年度3月31日

貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
(流 動 資 産)	(128,620)	(流 動 負 債)	(1,196)
現 金	170	未 払 金	134
普 通 預 金	128,249	前 受 金	290
郵 便 振 替	201	預 り 金	772
(固 定 資 産)	(21,078)	正 味 財 産 の 部	
甫水会記念事業積立金	21,078	次 年 度 繰 越 金	127,424
		特定資産次年度繰越金	21,078
合 計	149,698	合 計	149,698

一般会計収支計算書

自 2018年4月1日～至 2019年3月31日

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
甫 水 会 費 収 入	133,610	事 業 費	111,074
雑 収 入	1,762	管 理 費	12,890
投 資 活 動 収 入	0	投 資 活 動 支 出	4,078
前 年 度 繰 越 金	120,093	次 年 度 繰 越 金	127,423
合 計	255,465	合 計	255,465

2019年度事業計画

東洋大学においては、赤羽台キャンパスで発足する福祉系及び健康スポーツ系の新学部体制の整備など、既存の学部学科を含めて、「チーム東洋」の力を高め、全学を挙げて実効性ある改革が図られています。

東洋大学は知的拠点を目指して教育力と研究力、提案力と革新力を培養し、国際的に時代の期待に応えることをを目指し、ワールドクラスの大学への道が着実に踏み出されています。

東洋大学甫水会は、1959年1月父兄会とし、設立されてから今日に至るまで、「東洋大学学生の父母又は学生の保護者相互間の連絡を密にし、大学の興隆発展に協力するとともに、大学と協力して学生の心身の健全な発達を図ること」を目的としており、2019年度で創設60年目を迎えることになります。

甫水会として大学の掲げる目標及び事業を支援するとともに、60周年記念事業が会員とご子息ご子女各位にとって、実り多きものとなるように次の基本方針に基づき実施します。

1. 60周年記念事業の実施
2. 経済的困窮学生支援に対する体制の充実(給付型奨学金支給の充実)
3. 学生に対する課外活動・食育・就職活動支援の充実
4. 甫水会主催行事の参加促進と本部及び支部活動の活性化のための体制整備

以上の基本方針のもと、2019年度も引き続き、大学との「協働」「連携」の基本方針のさらなる充実を目指して、甫水会の事業を展開してまいります。

以下、2019年度甫水会事業計画の概要を説明いたします。

本部事業関係

1. 諸会議及び行事

【諸会議】

(1)評議員会

常任理事及び全国56支部長と1,000名以上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第21条の重要項目に関して審議を行う最高議決機関であり、定例会として年1回5月に開催する。

(2)理事会

常任理事と地区長理事で構成され、本会運営の基本業務について常任理事会の執行事項の確認・承認を行う機関であり、定例会として年2回10月及び翌年4月に開催する。

(3)常任理事会

原則として、毎月1回開催する(7・8月を除く)。

本会運営の基本的業務について、評議員会・理事会などで決定した事業計画を円滑に執行する。

(4)常任理事会内委員会

必要に応じて委員会を開催し、業務を執行する。

(5)役員選考委員会

次期役員候補者を全国56支部より推薦していただき、1月に役員候補者の選考を行う。

(6)地区別支部長会議

全国10地区において地区長主催で、本部・支部活動の円滑な連携と各地区組織の活性化を目的とし、地区別支部長会議及び実務研修を1月及び2月に実施する。

(7)全国56支部長研修会

本部主催で全国56支部長の参加による会議及び実務研修を9月に開催する。

(8)父母懇談会での協働

大学主催による父母懇談会(2015年度より甫水会主催の甫水懇談会を変更)の実施に際して、甫水会本部及び各支部が実施運営に協働(協力支援)することを本部事業として位置づける。

父母懇談会の実施については、関東地区の各支部(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県)の会員に対しては、学生が在籍する各キャンパス(白山、川越、朝霞、板倉、赤羽台)で6月に実施する。関東地区以外の各支部の会員については、全国26会場にて6月～8月に実施する。

大学教職員による履修成績、学生生活及び就職の支援体制について説明するほか、個別面談を実施する。

(9)会員の集い・就職フォーラム

会員相互の親睦を深め、就職関係の充実を図ることを目的とし、10月に実施とする。

講演内容として、魅力ある講演者・テーマ等を選択し参加者の増員を図る。なお、遠隔地支部会員については、規定額の交通費を補助する。

(10)創立60周年記念事業

①記念式典・祝賀会を5月に実施。大学教職員及びご父母との接点拡大を醸成すべく、6月学部別父母懇談会実施後及び10月会員の集い・就職フォーラム終了後に甫水会会員と大学教職員との懇親会を実施する。

②井上円了像・四聖像(カント・孔子・釈迦・ソクラテス)・塩川前総長像の説明盤(英文含む)の大学への寄贈。国際化、留学生の増加、来訪者の増大により、英文を含むレリーフ設置の要請が大学側からかねてからあり、60周年を機に寄贈を決定。

③甫水会独自のホームページ新規立ち上げ

甫水会独自のホームページを開設し、東洋大学ホームページとのリンクを確保して、甫水会と大学との情報の共有化を図ると共に、甫水会ホームページにおいて、各支部で行事計画及び報告を紹介するなど、支部内及び支部間の情報の共有化により、支部活動の活性化を図る。また、大学各部署から情報提供を受け、各運動部・文化部の情報発信も行い、より一層の応援活動に寄与することを目的とする。

2. 学生支援諸制度

(1)奨学生制度

①家計急変者対象(従来の甫水会奨学金)

東洋大学第2種及び3種奨学金の申請が間に合わなかった学生で、支援を要する場合。

②経済的困窮学生対象奨学金

大学と協議のうえ実施する。

(2)学生の課外活動促進

①学生の課外活動に係る支援及び表彰

学生部と連携し、学生団体のみならず、個人の活動についても対象とし顕著な活動が認められ大学から特段の要請があった場合について広く援助又は表彰する。

②強化部以外の運動部への支援

※2018年度体育後援会解散に伴う支援の補填

③文化系サークル活動促進援助

本学の運動部以外の多様な文化系サークル活動に關して、全国地方都市で行われる大会や発表会への参加等地方における課外活動の促進を図る援助を行う。

④正課外教育活動参加促進援助(実施ボランティアの推進)

2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に正課外教育について、全学的な関心と参加促進を図るべく、大学が指定するイベントに参加する学生に対し学食引換クーポンを発行する計画への支援をする。

⑤学生団体による応援・広報活動の支援

応援や広報活動等を行っている学生団体に対し、交通費や運搬費、ユニフォーム購入等を支援する。

(3)国際化の支援

大学の国際化を支援の一環として、外国人留学生と日本人学生のコミュニケーションとグループワーク等に關するイベントへ支援を行う。大学の交流イベントを協賛、補助する形で外国人留学生が興味を持っている日本の衣食住、文化芸術に關する講演会の実施などを行う。

(4)就職活動支援

①ビジネススーツ等購入支援(紳士服販売業者と提携して無料配布)

予算に限りがあることを考慮して、家計急変者等に對象を限定し、奨学金の補填を趣旨とした支援を行う。経済的困窮学生の選考評価が難しいことを踏まえて、甫水会の奨学金受給者及び東洋大学第2種、3種奨学金の受給者を対象とし、大学の奨学金説明時に併せて広報するなど、周知の時期や広報の仕方を併せて工夫する。

②就活グッズの作成配布

就職活動を行う学生全體に対して、就職活動に活用できるグッズ(大学独自の履歴書、カードミラーなど)を作成して配布する。

(5)学生の食育支援

食育の一環として、引き続き大学からの申請に基づき援助する。食環境科学部の助言及び協力を得る事も検討

しながら進めていく。

①全学生を対象とした100円朝食を引き続き実施する。

②朝食支援の補填として、牛乳、グラノーラなどの軽食を生活協同組合等に委託し支援する。

(6)東洋大学社会貢献センター学内講座甫水会援助制度

2016年度より開設の東洋大学社会貢献センター学内講座実施に伴い、申請に基づき広く褒賞金を支給する。支給にあたっては、他学部との褒賞金とは重複しないものとし、予算の範囲内で支給する。

(7)弔慰金制度

不測の事故等で会員又は会員のご子女が死亡した時、その遺族に対して弔慰金3万円を支給する。

3. 甫水会費の徴収・支部運営費の交付

(1)甫水会費の徴収

甫水会費は、1部学生については、大学に代理徴収を依頼し、入学時及び毎年授業料払込時に5,000円を徴収し、2部学生については、任意加入とし、本部において徴収する。

(2)支部運営

①支部運営費は、支部所属会員数1人当たり1,000円を乗じて算定する。さらに、会員が1,000名未満支部については、100,000円を加算し、本部から年1回6月に各支部に交付する。

さらに、会員数200名未満支部については、支部からの申請に基づき増額50,000円の援助を行う。

②支部運営費については、講演会、校舎見学等、その実施目的が会員の親睦のみに限定されない支部開催事業(支部行事)に対して充てられるものとし、原則として支部予算の範囲内で実施するものとする。ただし、支部予算では賄えない場合で、やむを得ないと認められる場合に限り、支部からの申請に基づき、本部において審議のうえ、年度中10万円の範囲内で交付金を支給する。

③別途、就職説明会、文化・体育活動の支部主催応援行事等については、支部会員全體に周知することを前提に支部からの申請に基づき、年度中10万円の範囲内で援助する。なお、援助にあたっては、繰越金等の支部の収支状況を考慮して、援助の有無又は援助金額について審議する。

4. 就職関係

(1)就職関連講演会等の実施

本部または各支部で実施する就職関係講演会等行事については、6月から実施する父母懇談会の内容を踏まえた上で、実施時期、講演者、講演内容を検討する。

行事内容の策定及び講演者の選定については、父母のニーズに合致しているか等効果を考慮するとともに、実施に際しては、甫水会事務局を通じて大学における就職関連担当事務局(就職・キャリア支援部等)の意見及び推薦を踏まえることとする。

(2)大学の就職支援体制等のプレゼンツールの作成

就職関連講演会を中心とした大学からの支援体制の説

明ツールとして、前年度に引き続きパワーポイントで作る動画プレゼンテーション(PIP Maker)を作成する。就職環境の変化や支援体制変更に伴う説明内容の変更点を更新するほか、新たな説明ツールの作成も行う。ツールの更新、新規の作成に際して、父母(会員)に対するアンケート等を基に、ニーズや意見を反映させるようする。

各支部に配布して支部行事の活性化を図るほか、作成を通じて父母懇談会での大学関係者の説明支援に寄与する。

5. 大学事業(行事)に対する支援協働

会則に定める「目的及び事業」を達成するために、大学事業については積極的に援助・協働することを基本としている。

(1)父母懇談会および甫水会支部総会開催に伴う経費

2015年度より大学主催の父母懇談会実施に伴い、甫水会本部と各支部が実施・運営に関して、今年度も引き続き大学との協働(連携・支援・協力)体制とする。特に、全国会場で実施する、地区別父母懇談会ならびに甫水会支部総会の実施経費のうち、会場費等については、大学事務局との協議の上、予算の範囲内で甫水会が負担する。

(2)父母専用相談窓口運営の設置

2015年度から開設された、父母専用相談窓口(父母ホットライン)の運営について、大学と協働して推進する。

(3)新入生父母に対する説明会実施に伴う経費

(4)「井上円了が志したものとは」に対する援助

井上円了記念学術センター内の実行委員会に本部役員が構成員として任用されており、実施企画について、その運営費の一部を援助する。

(5)卒業記念品

毎年度、卒業記念品購入代金として大学、校友会、本会の三者による分担金を支出する。記念品目については、関係部署と事前に協議する。

(6)全学的な行事に対する援助

既存の5校舎における大学祭(白山祭、こもれび祭(川越)、朝華祭、雷祭(板倉)、INIAD-FES(赤羽台)及び3校舎におけるスポーツ大会(川越、朝霞、板倉)について、援助金を支給する。

(7)留学生団体等に対する援助

大学の国際化が求められている今日、大学の活性化にも繋がる留学生連合会等団体の活動に対し広く援助金を支給する。

(8)学部行事等(ゼミナール単位での取組み含む)に対する援助

学生を対象とした学部行事・コンクール等において、優秀者に「甫水会会長賞」を授与し、ゼミナール単位における社会貢献活動、卒業生実務担当者と在校生の連携協力に対し援助金を支給する。

(9)「東洋大学教育・研究協力資金」募金に対する協力

「創立150周年に向けて国際的に優れた水準の大学を目指す。」といった「未来宣言」の実現を支援すべく、大学の寄付募金の趣意に添った形で寄付を行う。

昨年度に引き続き、「奨学事業の展開」、「課外活動の

支援として用途支援型」の寄付を行う。

(10)会長施策重点支援事業費

学生により近いところへの支援事業として、会長が考案した内容について、常任理事会での承認を得て支出するものとする。

(11)交換留学生等の受入れ支援

6. 大学及び校友会行事等に対する協力

大学及び校友会が年間行事として実施する祭事等に、甫水会代表者を派遣する。

7. 広報活動

会員相互間の連絡を密にすることを目的として広報活動を実施する。

(1)甫水会本部発行物

①新入生対象の「会員のしおり」

——年1回(2019年12月発行予定)

②全会員対象の「会報東洋」

——年1回(2019年12月発行予定)

③本部役員及び支部長対象の「甫水会ジャーナル」

——年2回(2019年4月・10月発行予定)

「会員のしおり」及び「会報東洋」の発送は、大学の送付物に同封する。

(2)甫水会ホームページの運営

大学ホームページ内における制約を鑑みた際、本会独自のホームページを作成することで、会員に対し、いち早く身近な情報を発信できることから、業者に運営管理の委託を検討している。また、初めての試みでありセキュリティ強化・作成後の修正その他諸経費増大を想定している。

(3)本部及び支部活動促進のためのグッズ作成(当年度支部役員就任者への配布)

当年度支部役員就任のモチベーションを高め、支部活動の活性化に寄与することを目的に作成する。

大学が作成するグッズを協働して発注することで効率的かつコストダウンを図る。

配布に際しては、事前に目的を会員に周知徹底すると共に、配布基準に基づき会員間の平等性を確保する。また、支部役員就任者へスポーツ東洋を年5回配付する。

(4)会員の満足度向上と帰属意識昂揚のための施策

支部総会等甫水会主催行事への会員の参加を促進すべく配布する。グッズの内容は、応援グッズなど活動促進に資するものとし、大学と協働で作成して効率的な作成を図り、併せてコストの低減を図る。

8. 会員情報管理システム

甫水会本部では、大学の教務部門の情報を利用し、会員登録・会員登録処理等を行っている。

会員情報管理システムは、2014年度からは、卒業生・甫水会連携推進課に依頼することとなっている。また、支部要請の宛名ラベルを本部で作成提供できるようになっている。

情報の使用・管理については、「個人情報保護法」に

基づき適切に管理されるよう、引続き支部でのご協力を
お願ひする。

大学と「個人データの提供に伴う個人情報の機密保持
及び安全管理に関する契約書」を締結し、申請に基づき
取り扱っている。なお、ホームページについては、大学
側ホームページにリンクし、最新データを隨時加えるこ
とによって、情報化を促進する。

支部事業関係

各支部が中心となって主催する行事等については「支
部主催行事等援助金」支給基準に基づき援助を行う。

各行事等の名称と実施手続き等については次の通り。

(1)支部総会

2015年度より実施の大学主催の父母懇談会開催に伴
い、関東地区以外の支部については、原則として支部総
会開催は、大学主催の父母懇談会開催日と同日の同じ会
場で実施する(一部都合により父母懇談会と別日程で支
部総会を開催せざるを得ない場合は、甫水会本部と相談
の上、別途支部において、別日程で支部総会を開催する
場合がある)。

また、関東地区的支部については、従来通り支部総会は
別途、別日程で独自で開催する。

2019年度は支部総会開催に伴う懇親会実施に際し、支
部からの申請により支部へ本部より参加者一人当たり
2,000円の援助を行う。(一学生につき保護者2名参加者
まで)

(2)就職説明(懇談)会

各支部において、独自で就職説明(懇談)会を計画した
場合は、「甫水会支部関係業務等処理手順」に基づき、
甫水会事務局へ申請書を提出する。支部からの開催要望
に基づき、大学側と調整し支部へ報告する。

(3)校舎見学会

5校舎の父母懇談会時及び本部主催事業「会員の集
い・就職フォーラム」(白山校舎)の実施に際して、校舎
見学を実施する。支部単位での個別の校舎見学について
も受けけることとし、校舎案内者を派遣依頼要請する関
係から、就職説明(懇談)会同様の手順で申請を受け付ける。

2017年度開設の赤羽台キャンパスについても、父母懇
談会時等に実施できるよう調整するが、支部行事での校
舎見学はキャンパスセキュリティのため不可とする。

(4)講演・研修会等

講演・研修会等の講師について、東洋大学の教員等を
講師として希望する場合、支部からの申請に基づき、本
部にて担当課と調整の上派遣する。

甫水会収支関係

1. 収入について

①2019年度の甫水会費5,000円は、大学に委託徴収を
依頼している。

第1部の入学生及び在学生から徴収する。なお、
留学生は除く。

第2部の入学生及び在学生からは、任意加入とし
て本部が徴収する。

②雑収入は、学生総合補償制度が取りやめとなるため
事務手数料が減となる。

2. 支出について

【事業費】

- ① 本部関連事業の主要行事である、支部総会、会員
の集い・就職フォーラム、就職説明(懇談)会、会報
発行等については大学の関連部署と協働を図り、予
算を執行する。
- ② 支部関連事業の支部主催行事についても規程に準
じて援助し、各支部の活性化を図る。
- ③ 学生協力費については、前年度通り本会の目的に
に基づき、大学祭、スポーツ大会、クラブ・サークル等の援助金を大学の関連部署と連携して支給する。
- ④ 人件費は、事業費関連事務に伴う人件費を、労働
契約書に基づき支出する。
- ⑤ 2019度新規施策事項については、必要な経費を計
上した。

【管理費】

- ①会議費は、各会議等に要する旅費交通費等である。
- ②通信費・印写費・支払手数料・備品費等事務に要す
る費用を科目ごとに計上している。
- ③人件費は、事業費関連事務以外の事務に伴う人件費
を、労働契約書に基づき支出する。

なお、事務局嘱託職員の夏季及び冬季手当につい
ては、(1)④事業費記載の通りとする。

- ④ 2019度新規施策事項については、必要な経費を計
上した。

⑤予備費については、緊急支出として措置する。

【特定資産取得支出】

60周年記念事業(2019度)の実施終了に伴い、次回周年
事業に向けての準備積立金100万円を計上する。

2019年度予算書

2019年度予算は、理事会・評議員会において、事業計
画書と共に提出、報告されました。

2019年度一般会計収支予算書

自 2019年4月1日～至 2020年度3月31日

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
甫水会費収入	132,500	事業費	175,097
雑収入	26	管理費	26,700
投資活動収入	21,078	投資活動支出	1,000
前年度繰越金	87,080	予備費	1,500
		次年度繰越金	36,387
合計	240,684	合計	240,684

2019年度父母懇談会・支部総会報告

学部別父母懇談会参加者数

校舎	学部	申込数	参加者数	実施日
白 山	文 学 部	203	181	6/30(日)
	経 済 学 部	162	137	
	経 営 学 部	194	173	
	法 学 部	113	88	
	社 会 学 部	228	198	
	国 際 地 域 学 部	9	9	
	国 際 学 部	102	91	
	国 際 観 光 学 部	96	84	
川 越	理 工 学 部	223	205	6/22(土)
	総 合 情 報 学 部	59	54	
朝 霞	ライフケアデザイン学部	111	105	6/29(土)
板 倉	生 命 科 学 部	57	53	6/29(土)
	食 環 境 科 学 部	59	52	
赤羽台	情 報 連 携 学 部	201	189	6/16(日)
	出 席 者 合 計	1,817	1,619	

※参加人数は複数参加者を含む

首都圏支部総会参加者数

支部名	会員数	参加者数	出席率(%)
茨 城	1,489	62	4.2
栃 木	697	57	8.2
群 馬	724	53	7.3
埼 北	485	41	8.5
埼 中	1,544	26	1.7
埼 東	1,336	50	3.7
埼 南	2,779	132	4.7
千 葉 東	1,747	52	3
千 葉 西	1,999	47	2.4
城 東	1,258	32	2.5
城 西	693	15	2.2
中 央	581	8	1.4
城 北	1,900	43	2.3
多 摩	1,915	40	2.1
神 奈 川	2,139	60	2.8

6月時点会員数

※参加者数は受付名簿による

首都圏以外41支部

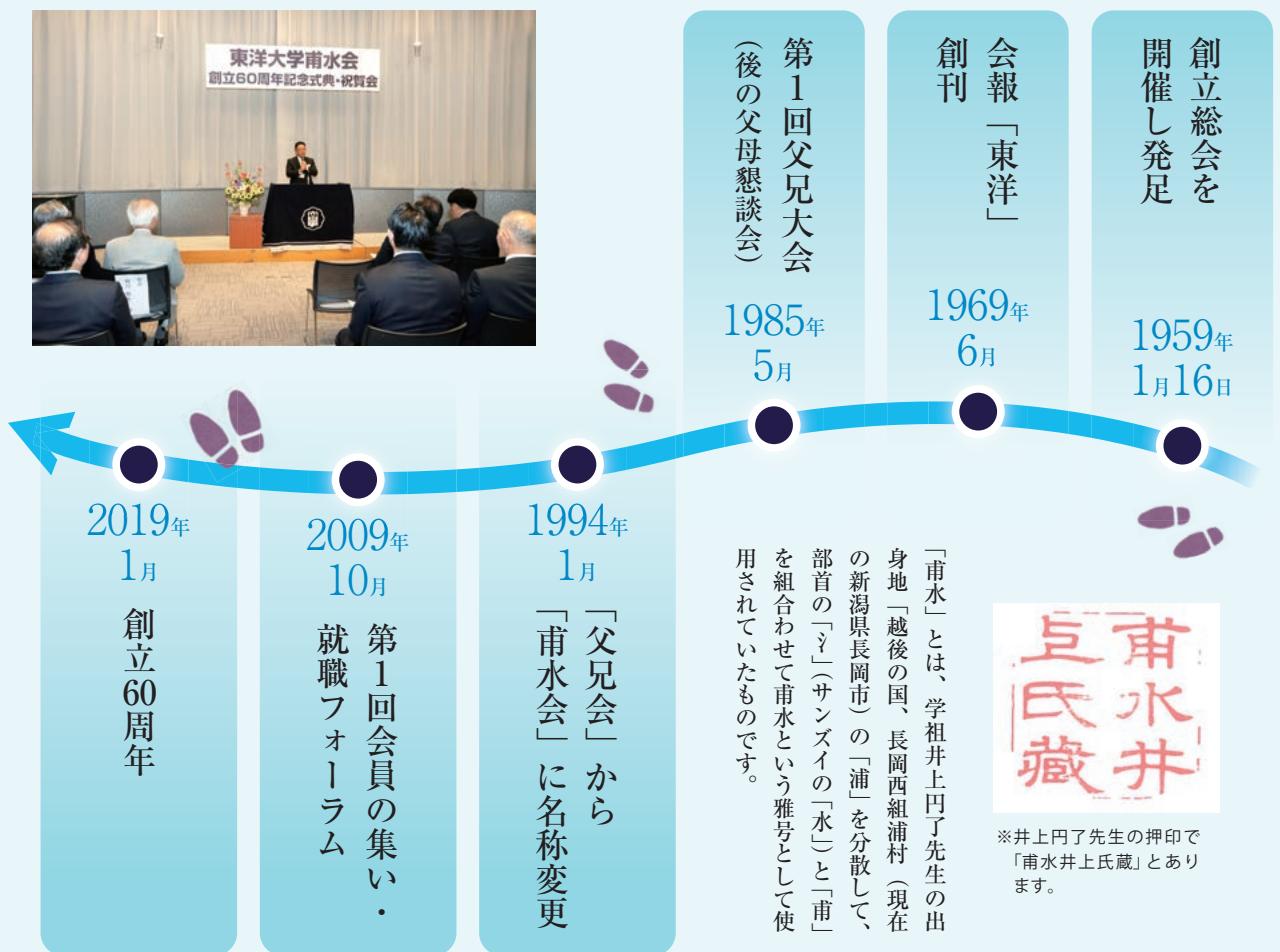
父母懇談会・支部総会(成績・履修出力数)

支部名	父母懇談会開催場所	会員数	父母懇談会参加者数	支部総会申込者数	支部総会参加者数
札 幌 ・ 函 館	札 幌 市	181	55	38	37
旭 川		24	1	2	1
北 見		13	0	6	6
室 蘭		26	1	1	1
釧 路	釧 路 市	47	5	5	5
青 森	青 森 市	104	18	19	19
岩 手	盛 岡 市	93	16	17	14
宮 城	仙 台 市	145	11	7	8
秋 田	秋 田 市	101	27	18	18
山 形	山 形 市	138	24	24	20
福 島	郡 山 市	369	36	18	16
新 潟	新 潟 市	632	79	53	52
富 山	富 山 市	134	32	21	19
石 川 ・ 福 井	金 沢 市	131	22	15	15
山 梨	甲 府 市	152	24	17	17
長 野	長 野 市	596	75	55	55
岐 阜	名 古 屋 市	77	13	9	8
愛 知		195	34	26	26
三 重		54	17	12	14
静 岡	静 岡 市	544	74	51	44
京 都 ・ 滋 賀	大 阪 市	49	5	2	6
阪 奈		122	22	10	12
和 歌 山		16	1	3	3
兵 庫		135	34	16	32
岡 山	姫 路 市	35	3	3	1
鳥 取	米 子 市	23	5	2	9
島 根		18	4	5	5
広 島	広 島 市	111	19	16	16
山 口		37	6	7	5
徳 島	徳 島 市	21	6	6	5
香 川		36	9	6	5
愛 媛	松 山 市	53	18	11	14
高 知		47	8	7	7
福 岡	福 岡 市	137	32	27	26
佐 賀		22	9	4	8
熊 本		88	16	13	13
大 分		28	4	5	3
長 崎	長 崎 市	44	6	3	3
宮 崎	宮 崎 市	49	22	22	21
鹿 児 島	鹿 児 島 市	37	8	8	8
沖 繩	豊 見 城 市	68	16	13	12

6月時点会員数

参加者数は受付名簿による

甫水会簡易沿革



甫水会寄贈物件



東洋大学甫水会創立60周年記念式典・祝賀会



安齋理事長祝辞



竹村学長祝辞



荻野甫水会長挨拶



福川総長 基調講演



記念品目録贈呈



懇親会の様子



懇親会の様子



懇親会の様子



ギター・アンサンブル



応援指導部

本部行事

評議員会



常任理事及び全国56支部長と1,000名以上の会員を擁する支部選出の評議員とで構成され、会則第21条の重要項目に関して審議を行う最高議決機関であり、定例会として5月に開催しました。

全国56支部長研修会



全国56支部長の参加による会議及び実務研修を9月に開催しました。

箱根駅伝応援バスツアー



1区のスタート付近で選手を沿道で応援し、バスで箱根に向かい、5区のゴール付近で選手を声援しました。

2019年度「会員の集い・就職フォーラム」



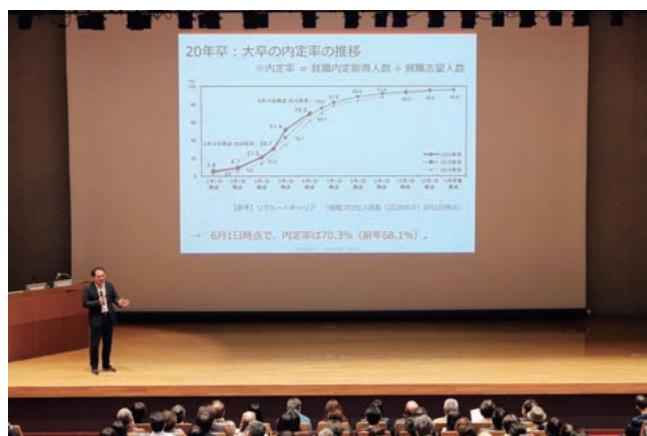
学長挨拶



キャンパスツアー



グルーピーサウンズ・ジャズオーケストラ演奏



就職講演



パネルディスカッション



懇親会風景



〈出席者からの声〉

- ・保護者対象のこのような機会が年に数回あり、非常にありがとうございます。
- ・キャンパスツアーも楽しく、就職フォーラムは大変参考になりました。
- ・講演会前のジャズの演奏を聴いて、リラックス出来ました。
- ・6号館食堂でのランチは来年以降も是非、継続していただきたいです。
- ・学校や学生生活の情報交換、保護者間の仲も良くとても楽しいです。

支部行事

支部総会



北海道北見支部



福島県支部



宮城県支部



埼玉県北支部 懇親会

支部行事



東京4支部（城東・城西・中央・城北）合同就職講演会



埼玉県南支部 バス研修旅行

甫水会役員名簿

[2019年度本部役員]

役職名	氏名	支部名
会長	荻野 雅彦	埼北
副会長	阪上 正樹	埼南
副会長	渡邊 裕	栃木
常任理事	大熊 廣一	大学推薦
常任理事	増田 孝	千葉東
常任理事	濱田麻衣子	埼東
常任理事	佐藤 康代	茨城
常任理事	鈴木 貞好	神奈川
常任理事	川本 正信	多摩
監事	小瀧 早苗	千葉西
監事	久保田誉代	埼中

役職名	氏名	支部名
理事・地区長(北海道)	高橋 勇人	札幌・函館
理事・地区長(東北)	上泉 恵子	宮城
理事・地区長(関東)	吉田 寿子	城西
理事・地区長(甲信越)	井口 幸雄	長野
理事・地区長(北陸)	森田 和美	石川・福井
理事・地区長(東海)	堀 岳史	岐阜
理事・地区長(近畿)	松山 智春	京都・滋賀
理事・地区長(中国)	永田佳奈子	岡山
理事・地区長(四国)	高橋 一志	香川
理事・地区長(九州)	青山 正志	熊本

[評議員]

会則第20条2項(支部長)

支部名	氏名
札幌・函館	高橋 勇人
旭川	石井 典夫
北見	清水 伸一
室蘭	猪狩 美香
釧路	長原 京子
青森	小笠原勝博
岩手	岩崎 薫
宮城	上泉 恵子
秋田	樋口 敦史
山形	小関 義弘
福島	山口 浩
茨城	秋田 幹夫
栃木	石山 光世
群馬	若度 亨
埼北	鈴木 由美
埼中	賀山 勉
埼東	福岡美矢子
埼南	織茂 邦子
千葉東	田家 順子

支部名	氏名
千葉西	田島 剛
城東	鈴木 一広
城西	吉田 寿子
中央	難波 陽子
城北	芝崎 善治
多摩	栗原 成行
神奈川	清水 豊
新潟	清水 真也
山梨	河野 裕恵
長野	井口 幸雄
富山	青木奈緒美
石川・福井	森田 和美
岐阜	堀 岳史
静岡	近藤ゆかり
愛知	塚本 貴章
三重	高橋 裕司
京都・滋賀	松山 智春
阪奈	納 幸盛
兵庫	笹倉 正昭

支部名	氏名
和歌山	岩瀬 和浩
鳥取	吉田 尚史
島根	福間 正純
岡山	永田佳奈子
広島	横畠 和史
山口	岩本 英樹
徳島	清水真理子
香川	高橋 一志
愛媛	小野 裕章
高知	坂本 雅之
福岡	佐藤 由理
佐賀	恒松 勇
長崎	都築 勇一
熊本	青山 正志
大分	佐藤 弥生
宮崎	別宮 庄司
鹿児島	芝原 健一
沖縄	仲宗根 優

会則第20条2項(1000名を超える支部)

支部名	氏名
茨城	土屋 大輔
埼中	井上 幼子
埼東	石川 信子
埼南	久保 孝之
千葉東	古米 博文

支部名	氏名
千葉西	錦戸 智行
城東	久茂田善晃
城北	木村 弘子
多摩	竹岡 光子
神奈川	加藤 学

顧問

氏名
奥澤 敬子
竹内夕美子

本部役員紹介

会長 萩野 雅彦 埼玉県北支部

創立60周年の節目を迎え甫水会にとりましても、「新たな時代」を感じられるような運営に努めてまいりたいと存じます。

副会長 渡邊 裕 栃木県支部

大学・学生・保護者を繋ぐ架け橋としての役割を果たせるよう精一杯務めさせていただきます。よろしくお願ひします。

常任理事 濱田麻衣子 埼玉県東支部

甫水会活動や学生支援など、会員の皆様からのご理解ご協力の元、尽力に努めたいと思います。

常任理事 鈴木 貞好 神奈川県支部

理事を拝命いたしました鈴木貞好です。会員の皆様に納得いただける会務運営を目指し精進して参りたいと思います。

監事 小瀧 早苗 千葉県西支部

今までにない新鮮な経験をさせて頂いています。沢山の出会いに感謝しながら、役割を全う出来るよう務めたいと考えております。

※常任理事（大学推薦） 大熊廣一 P.5に挨拶あり

副会長 阪上 正樹 埼玉県南支部

ちょっぴり顔は強面ですが、気は優しくて力持ちですので、何時でも何処でも何でも気軽にお声かけをいただければ幸いです。

常任理事 増田 孝 千葉県東支部

甫水会IT化にむけたポータルサイトに取組み、支部活動の手助けとなる情報提供・連携を推進してまいります。

常任理事 佐藤 康代 茨城県支部

甫水会会員様とご子息ご息女、大学の連携が円滑に進むようお手伝いをしていきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

常任理事 川本 正信 東京都多摩支部

子供が通う東洋大学を、親も一緒に楽しみましょう。スポーツに芸術に勉学に、頑張る東洋大生を応援します!!

監事 久保田誉代 埼玉県中央支部

一年間常任理事、大学関係・事務局の方々と協力し合い、みなさんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。



左から久保田監事・濱田常任理事・川本常任理事・増田常任理事・渡邊副会長・
萩野会長・阪上副会長・鈴木常任理事・佐藤常任理事・小瀧監事

》東洋大学オリジナルグッズのご案内《

入学・卒業の記念に、ご進物用に、応援グッズとしてなど、
さまざまなシーンでご利用いただいております。
ご注文はオリジナルグッズサイトよりお申ください。



teddy bear



扇子TUマーク

クッキー



応援旗



マフラー・タオル



東洋大学ラベル
地ビール

お申込は <https://goods.toyocoop.jp/>

東洋大学生活協同組合



東洋大学甫水会 ウインドブレーカーご案内

甫水会でウインドブレーカーを作成いたしました。
これを着て一緒に学生の応援へ駆け付けませんか?
※ご購入を検討される場合は在籍支部へご連絡をお願いいたします。



ブレーカーシャツ ￥4,600(税込)

■素材…表地 & 裏地：ポリエステル100%

●サイズ

S	157 ~ 163
M	162 ~ 168
L	167 ~ 173
XL	177 ~ 183
2XL	182 ~ 188



東洋大学 父母専用相談窓口（父母ホットライン）

ご父母または保証人の皆さまに対する電話相談窓口

東洋大学甫水会事務局内に、父母専用相談窓口（父母ホットライン）を開設しています。学部に在籍するご子息・ご息女のことで、ご父母または保証人の皆さまが、大学のどこの部署へ相談したらよいかわからない等、お困りのことがございましたら、この相談窓口まで、電話にてお問い合わせください。

※大学へのご連絡に際して

授業運営や事務手続きに関する質問等につきましては、ご子息・ご息女が所属する関連窓口に直接申し出でていただくようお願いしています。お子様の自主性を尊重し、学修を実質化する意味において、父母および保証人の皆さまにおかれましてもご助言いただきますようお願い申し上げます。



電話番号 ● 03-3945-7883

受付時間 ● 9:30 ~ 16:30 (月曜日~金曜日)

甫水会からのお願い

保証人住所変更手続きについて

転居等により保証人住所・電話番号を変更される場合には、ご子息・ご息女に東洋大学ホームページサイト『ToyoNet-G』（とよねっとジー）で変更手続きを行うようにお伝え下さい。

この手続きで「父母懇談会」・「支部総会」・「会員の集い・就職フォーラム」・「会報 東洋」等、甫水会及び会員の皆様が所属する支部からのすべての送付物のあて先に反映されます。

なお、甫水会では、住所変更手続きは受け付けられませんので、ご了承のほどお願い申し上げます。

教務担当窓口への提出 もしくは『ToyoNet-G』からの変更をお願い致します。

甫水会からのご案内



甫水会会員向け HP開設しました！

保護者として知りたい情報をアップしていきます

例えば…… 甫水会とは…？

支部行事に参加してみたい。

学生の大会情報を知りたい など



URL : <https://www.toyo-hosui.jp>

東洋大学甫水会

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 (8号館中2階)

TEL.03-3945-0123 FAX.03-3942-7612

メールアドレス hosui@toyo.jp

発行日 2019年12月15日 編集・発行 東洋大学甫水会